

| 特集 警察のセキュリティ
| 製品特集 IPネットワークカメラ
| 業種別市場 小売業

High Resolution Camera with Effio™

52万画素、洗練されたデザイン、最上画質!
960H CCDによる700TV本の高解像度!



CNB × **TP TENPO PLANNING**
NEW PRODUCTS



1080P HD-SDI Camera

優れた夜間監視性能、最高のFull HD画質! 既存同軸ケーブルが利用可能!

Turn night into day!



防犯・監視向 赤外線サーマルカメラ

光を一切必要としないフリアーシステムズの赤外線サーマルカメラは、完全な暗闇、霧、煙の中でも鮮明な画像をとらえ、豊富なラインナップで幅広いニーズにお応えします。

- ・固定タイプ、パンチルトタイプ、各種レンズをご用意
- ・アナログだけでなく TCP/IP ネットワークにも対応 (ONVIF 対応)

詳細は弊社ホームページで

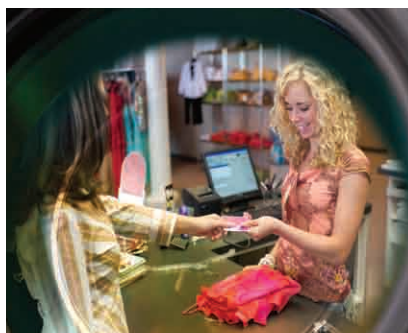
www.flir.com

フリアーシステムズジャパン株式会社
〒141-0021
東京都品川区上大崎2-13-17
目黒東急ビル5階
電話：03-6721-6648 FAX：03-6721-7946
e-mail：info@flir.jp
製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
Copyright©2013 FLIR Systems.

掲載画像は製品の説明目的で使用しています。

目次

a&S JAPAN May/Jun. 2013
2013年5-6月号 No.34



国内産業ニュース	6
海外産業ニュース	9
読者の声	60

表紙解説	
CNB&店舗プランニング NEW PRODUCT INFORMATION	4-5

特集	
警察のセキュリティ	12

製品特集	
IPネットワークカメラ	18

業種別市場	
小売業	24

キーマンインタビュー	
アクシスコミュニケーションズAB 創業者兼取締役マーチン・グレン氏	38
マイルストーン・システムズ社 CSOエリック・ファラトン氏	48

連載	
市場慧眼 よくわかるIPネットワーク	36

イベント情報	
SECURITY SHOW2013レポート	40
SECUTECH 2013レポート	44
ISC Westレポート	46
マイルストーン・システムズ社	47
SECUTECH INDIAレポート	50
展示会、プライベートショー日程	51

導入事例	
WEBGATE社	52
フリーアールシステムズジャパン	53

新製品情報	
リーダー電子	54
MOBOTIX JAPAN	55
アクシスコミュニケーションズ	56

新製品欄	
CCTV、入退管理、その他	57

広告主名(ABC順)	掲載ページ
アクシスコミュニケーションズ	3
BOSCH SECURITY SYSTEMS	13
GENETEC	15
フリーアシステムズジャパン	表二
ジャバテル	11、23
MESSE FRANKFURT NEW ERA MEDIA	17、表三
店舗プランニング	表一、4-5、表四
VIVOTEK INC	30-31(センター見開き)

次号案内 2013年7/8月号(7月10日発行予定)

特集
基幹部品

製品特集
全方位カメラ

業種別市場
病院

連載
市場慧眼、生体認証、署名認証

(誌面の都合上、変更になることがあります)

a&sJAPAN ©ASJ社 2012年5-6月号 No.34
The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 新日本印刷

a&sJAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s Interenational、a&sAsiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ社
Advanced Security Journal Corporation
東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階 〒101-0041
電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは
E-mail：komori@asj-corp.jp

■購読に関するお問い合わせは
E-mail：reader@asj-corp.jp

■記事情報提供に関するお問い合わせは
E-mail：info@asj-corp.jp

■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス
当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開しておりません。

見るべき対象はどこですか？

薄暗い場所でも「きちんと見る」



この画像は実際の監視映像を表すものではありません。Axis各製品の詳細はwww.axis.comをご覧ください。



Axis独自のLightfinderテクノロジー搭載カメラは、照度の低い環境でも、鮮明なカラー映像を実現します。

監視カメラを選ぶ際に「画質」は常に重要な点として挙げられますが、本当に重要なことはその画質をどのように活用するか、ではないでしょうか。Axisではお客様の業務が円滑になるよう、カメラ性能としての画質向上に注力しています。HDTVやLightfinder、ワイドダイナミックレンジなど、優れた画質を実現するAxis製品をぜひご活用ください。



www.axis.com/imageusability

Axisはネットワークビデオの世界的リーダーとして、たとえどのような状況で撮影してもお客様が真に有用となる映像を得られるよう、日夜努力を続けています。

Axisの映像監視で、一歩先を進みましょう。

AXIS
COMMUNICATIONS



HD-SDIボックスカメラ

BB1-B4F NEW

撮像素子 1/3インチ 2.0メガ・ピクセルCMOS
 総解像度 1920(H)×1080(V)=2.0メガ・ピクセル フルHD
 走査方式 16:9 プログレッシブ・スキャン
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(AGC)、3D-DNR、ACE(アダプティブ・コントラスト・エンハンス)、DEFOG、プライバシーマスク、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能

1080P HD-SDI Camera

NEW PRODUCTS LINEUP

優れた夜間監視性能、最高のFull HD画質！既存同軸ケーブルが利用可能！



HD-SDI耐衝撃型ドームカメラ

VB1-B4VF 近日発売

撮像素子 1/3インチ 2.0メガ・ピクセルCMOS
 総解像度 1920(H)×1080(V)=2.0メガ・ピクセル フルHD
 走査方式 16:9 プログレッシブ・スキャン
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(AGC)、3D-DNR、ACE(アダプティブ・コントラスト・エンハンス)、DEFOG、プライバシーマスク、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能

その他 耐衝撃型



HD-SDIドームカメラ

DB1-B4VF NEW

撮像素子 1/3インチ 2.0メガ・ピクセルCMOS
 総解像度 1920(H)×1080(V)=2.0メガ・ピクセル フルHD
 走査方式 16:9 プログレッシブ・スキャン
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(AGC)、3D-DNR、ACE(アダプティブ・コントラスト・エンハンス)、DEFOG、プライバシーマスク、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能

BB1-B4VF・DB1-B4VFの映像はこちらのショールームでご覧いただけます。



東京本社ショールーム

〒151-0061
 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2F
 京王新線 初台駅東口より徒歩5分

今回ご紹介しましたBB1-B4F・DB1-B4VFのほか、最新のネットワークカメラから、HD-SDIのカメラ及びハードディスクレコーダーまで取り揃え、いつでもお客様が見て操作できる環境を提供しております。ショールームは関西支店(大阪府大阪市)にもございます。いつでもお気軽にお越しください。※各ショールームで展示品が異なります。



JR・市営地下鉄 新大阪駅前の関西支店にもショールームがございます。大阪府大阪市淀川区宮原1-2-33 新大阪MSEビル2F

52万画素、洗練されたデザイン、最上画質！
より鮮明な映像を可能にする960H CCDによる
700TV本の高解像度！



全天候小型デイトナイトカメラ

WCD-50VF **NEW**

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
水平解像度 超高解像度 700TV本
走査方式 2:1 インターレース
機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、SBLC(逆光補正)、モーション機能
その他 同型のダミーカメラ(WCD-20VFD)もございます。



耐衝撃型赤外線内蔵ドームカメラ

LCD-50VF **近日発売**

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
水平解像度 超高解像度 700TV本
走査方式 2:1 インターレース
赤外線LED 赤外線LED18個(850nm, 30°)、センサー1個
赤外線照射距離 最大 15m
機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能
その他 耐衝撃型

High Resolution Camera with Effio™

NEW PRODUCTS LINEUP



デイトナイトボックスカメラ

BBD-50F **近日発売**

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
水平解像度 超高解像度 700TV本
走査方式 2:1 インターレース
機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、エクリアス、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能

バリオールレンズ内蔵ドームカメラ

DBD-50VF **近日発売**

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
水平解像度 超高解像度 700TV本
走査方式 2:1 インターレース
機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能
その他 広角タイプ(DBD-50VDW)・マイク内蔵タイプ(DBD-50VFA)も発売を予定しております。



CNB 製品のお問い合わせは

CNB CNB Technology Inc. 日本総販売代理店

TEMPORAL PLANNING 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業部
関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモモビル2階
TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp

販売代理店募集中

製造元 CNB Technology Inc.

CNB × **TEMPORAL PLANNING**

NEW PRODUCTS INFORMATION

キヤノン、動画撮影専用の35mmフルサイズ高感度CMOSセンサを開発

キヤノンは動画撮影専用の35mmフルサイズ高感度CMOSセンサを開発し、そのセンサを搭載したカメラで撮影に成功した。

今回、キヤノンが新たに開発したのはフルHD動画撮影専用の、高感度35mmフルサイズのCMOSセンサ。画素の大きさは一辺19マイクロメートルと、キヤノンのデジタル一眼レフカメラの最上位機種であるEOS

1D Xなどに使用されているCMOSセンサに比べて7.5倍以上の面積を持ち、また、画素部および読み出し回路には、画素が大型化すると増える傾向のあるノイズを低減するための新技術を搭載。これらの技術により、肉眼では認識が困難な、三日月の明かり程度(0.03lux程度)の低照度な環境でも鮮明な動画撮

影が可能になる。天体の動画撮影では、肉眼での認識レベルに近い電子増倍型CCDで撮影できるのが6等星程度であるのに対し、今回開発したCMOSセンサでは8.5等星以上の暗い星の撮影が可能。

キヤノンは、このCMOSセンサを搭載したカメラの試作機を用い、線香の光以外には光源のない室内の様子(0.05～0.01lux程度)や、ふたご座流星群など、さまざまな場面での試験撮影に成功した。

今後は、この技術の、天体・自然観測や医療研究などでの活用や、監視・防犯機器などへの応用を検討するとともに、より革新的なCMOSセンサの開発を進め、撮影領域の拡大と新しい映像表現の世界の開拓を目指していく。

富士キメラ総研、2017年のクラウド・コンピューティング・サービス市場予測を発表

富士キメラ総研は、2012年12月から13年3月にかけて、ICT(情報通信技術)の発展により成長期を迎え、2012年度は高成長を見せたクラウド・コンピューティング・サービスの市場動向と参入企業の戦略分析を行い、報告書「2013クラウド・コンピューティング・サービスの現状と将来展望」として発表した。

調査は、クラウド・コンピューティング・サービスをパブリッ

ク(汎用型)、プライベート(専用型)、共同利用の3つに分け、PaaS/IaaSの2タイプ、DaaS、SaaS、そしてプライベートクラウドの合計6分野の市場と、クラウド事業23社(コンピュータベンダ4社、SIベンダ8社、通信キャリア5社、インターネットシステム(以下ISP)プロバイダ2社、外資クラウドベンダ4社)を対象に個別の分析を行った。

NEC、成田空港でのノンストップゲート化実証実験に参加

NECは、成田国際空港が3月18日から約2ヶ月間実施しているノンストップゲート化に向けた実証実験に、警備システムを提供し実験に参加した。

成田国際空港には現在、警備員が身分証明書の提示を求めるとゲートを設けて、入場する全ての人に対してセキュリティチェックを行っている。成田国際空港は、警備の質を確保しつつ、旅客が円滑に空港を利用できるよう、入場ゲートの「ノン

ストップゲート化」に向けて、最新の技術を用いた実証実験を行っている。

本実験では、カメラの設置位置、方向、照明条件などの調整を行い、NECが提供する警備システムの有効な活用方法を検証。本システムが実用化されることで、空港のセキュリティ向上に貢献するとともに、出国手続きまでの時間短縮・利便性向上にも貢献する。

フリーシステムズ、消防用赤外線サーマルカメラの下取りプログラムを開始

フリーシステムズは、ハンディタイプのFLIR Kシリーズの下取りプログラムを開始することを決定した。本プログラムは、消防用赤外線サーマルカメラを使用年数やメーカーにかかわらず下取りして、FLIR Kシリーズの販売価格から最大50,000

円を値引きするプログラムである。消防用赤外線サーマルカメラであれば、全製品対象となっている。本プログラム適用期間は、2013年12月31日まで。なお、本プログラムは他キャンペーンとの併用は不可となっている。



BOSCH

Invented for life

R.O.D主催「第2回映像エバリュエーション」において、 Bosch NBN-733Vが、第2位を獲得!

www.rodweb.co.jp/event/2013/0402osaka/index.htm

●Dinion starlight HD 720p60(型番:NBN-733V)

- ・撮像素子:1/3" CMOS HD
- ・解像度:HD 720 p (1280×720ピクセル)
- ・最低照度:カラー0.017lux/白黒0.0057 lux
- ・帯域幅とストレージ容量を最大30%緩和
- ・最大フレームレート:60(HD 720 p)
- ・ユーザー定義により、関心領域を2つまで設定可能
- ・直感的なユーザーインターフェースにより、インストールが容易



●2013年4月2日、株式会社R.O.D主催 第2回映像Evaluationが大阪で開催されました。



300名以上の来場者が投票



カメラメーカー12社が、最新機種による画像を配信

●Boschセキュリティ製品に関するお問い合わせ先

Bosch Security Systems

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂9F

TEL. 03-5485-4427 www.boschsecuritysystems.jp

日本TI、低照度技術を活用したDaVinciビデオ・プロセッサDM369を発表

日本テキサス・インスツルメンツは、メガピクセルIPカメラ市場向けに、クラス最高の低照度テクノロジーを提供するDaVinci(TM)ビデオ・プロセッサ『DM369』を発表した。『DM369』ビデオSoCを使うことで、より優れた低照度テクノロジーを活用し、より細かく鮮明なイメージ品質を実現できる。

また、『DM369』ビデオSoCは、『DM36x』ビデオ・プロセッサ・ファミリの各製品とピン互換であることから、現行のTI製

品を使用中の顧客各社は、同市場分野において重要な差別化要因である低照度テクノロジーを活用して、既存のIPカメラ製品ラインナップを容易に拡張できる。

高いスケーラビリティを提供するTIのDaVinciビデオ・プラットフォームは、顧客各社に対し、他社と大きく差別化したIPカメラ製品を迅速、容易かつ高いコスト効率で実現する、革新的なソリューション群を提供していく。

旭化成ホームズとNICT、防犯・見守りシステムの共同研究を開始

旭化成ホームズと情報通信研究機構(以下NICT)は、NICTが開発した「電波を使った人の動き・侵入検知システム」について戸建住宅・集合住宅への導入の可能性を検証し、その技術を活用したサービスの提供を目指すために共同研究を開始した。それに伴い、本日付で旭化成ホームズ内に「センシングライフ研究会」を発足した。

同研究会では、NICT開発のアレーアンテナ※による電波を用いたセンシング技術を活用した新しい防犯・見守りシステム、

および、それにより可能となる新しい住まいや暮らし方を研究し、また、旭化成ホームズの富士・住宅総合技術研究所内の実証棟(HH2015)などを使って実証実験を行っていく。このセンシング技術を住宅内部の防犯・見守りに活用したシステムの実用化は世界にもまだ例がなく、2015年度の商品化を目指して研究を進める予定。

※アレーアンテナ:複数のアンテナを空間上に並べたもので、電波の伝わり方を検知できる。

富士通研究所、撮影した顔の画像からリアルタイムに脈拍を計測する技術を開発

富士通研究所は、スマートフォンやタブレット、パソコンなどの内蔵カメラやWebカメラで撮影した顔の画像からリアルタイムに脈拍を計測する技術を開発した。

血液に含まれるヘモグロビンが緑色の光を吸収する特性に着目し、血流から生じると考えられる顔表面の輝度変化を捉えて脈拍を検出し、専用の計測機器を用いることなく、カメラで

顔を撮影するだけで、脈拍数を最短5秒で算出する。さらに顔や身体の動きの少ないタイミングを自動的に選択することで、ノイズの影響を抑えた脈拍の継続的な計測が可能。

空港やイベント会場などのゲート前での脈拍検出を通じて、体調不良の人や不審な動きをする人の抽出などセキュリティ面での応用などを想定している。

店舗プランニング、インドネシアに子会社設立を発表

店舗プランニングは、インドネシアのジャカルタに子会社を設立し海外へ初進出することを発表した。既に会社設立登記を済ませており、7月をめどに営業を開始する。

取り扱い製品は、現在店舗プランニングが日本国内で代理店契約を締結しているCNB社、WEBGATE社、およびパナソニックシステムネットワークスからも全面的な協力を得ており、現地でも日本国内と同じような製品ラインアップの取り扱いが可能となっている。



インドネシア新会社の概要

商号: PT. TENPO PLANNING
事業内容: 防犯・監視カメラシステムの販売・施工・保守メンテナンス

設立日: 2013年7月1日(予定)

代表者: 入江正明

登録資本金額: 300,000米ドル(日本円: 約3000万円)

出資比率: 株式会社店舗プランニング 100%

米国エンドユーザのセキュリティ用予算、健全な範囲を維持

IMSリサーチ社のエンドユーザ調査によると、セキュリティ・ブームが過ぎても、回答した45%のエンドユーザは、セキュリティ予算が2012年に増加していると理解していた。北米在住の物理セキュリティ・システムのエンドユーザ約200人への調査では、44%の人が物理セキュリティ・システムの年間予算を10万ドル以上と回答した。これとは別に20%の人が年間50万ドル以上を回答した。

これについてIMSリサーチ社映像監視&セキュリティサービス担当マネージャのニアル・センキンス氏は、「エンドユーザがまだ設備への懸念を感じているのは明らかだ。このことは、セキュリティ設備のメーカーにとり、多くのビジネス機会があることを意味している

と語っている。そして、「予算を使えるようにしておくことは、実際に現在のシステムを交換するかアップグレードすることにエンドユーザが対価を支払うという上位2つの理由のうちの1つになっている。

主としてエンドユーザの管理職クラスでの調査では、過去

12か月間に実施した数多くの調査で見られた傾向と同様となっている。「当社では2003年からセキュリティ機器製造業者にインタビューしている。また、近年の成長は鈍化しているが、業界関係者は今なおセキュリティ市場で異なった様々なセキュリティ分野で成長を見ている

とジェンキンス氏は言う。

それでも、エンドユーザが満足している間に予算を執行することは、メーカーにとり問題がない訳ではない。調査回答者が注目していた重要事項の一つである技術進歩により、メーカー側は消費者の購入した設備を早くも支持していなかったからだ。明らかなのは、ふさわしい製品および適切な支援により成長を維持しているエンドユーザ用のセキュリティ市場は、市場に従事しているメーカーのために存在しているということだ。

「予算は現状維持が昨年よりも増額して、約20万ドルまで膨れ上がった。しかもそれが市場全体の85%にもなる

とジェンキンス氏は記述している。そして、「セキュリティ・ブームはまだ終わっていないと言結論付けている。

世界のビル自動化市場、2018年までに430億ドルまで成長

最新のABIリサーチ社の報告書によると、建築物の自動化サービス(BAS)市場は、今後5年間で今年の350億ドルから上昇し430億ドルにまで増大すると予測している。長年安定はしているが低かった成長の後、BAS市場は、急速な変化と投資の時期を経験している。伝統的に、成長と導入はビル新築とに密接に繋がってきただが、新規参入者と新しい結びつきにより投資拡大を助長している。

2つの鍵となる要因が成長の新しい環境創造を促進している。大きく成長している環境と財政的な要求が、商業ビルでのエネルギー消費を減らす動きと利益がBSAの最適化を喚起した。さらに、新しいセンサと起動装置からクラウドを応用した管理とデータ分析までBASの範囲を広げる新しい基準の連動性が登場してきた。

「これは、一部の大手企業が商業ビル管理システムを導入し管理することで長期間にわたり支配する市場である」とABIリサーチ社首席アナリストのジョナサン・コリンズ氏は言う。「当該企業は現在、統合化して新しく提供するサービスと競い合う新しい方法を開発している。

主要企業のシーメンス社およびジョンソン・コントロールズ社、ハネウェル社およびシュナイダー・エレクトリック社は、各社のBASがサードパーティ企業ソフトウェアと接続されるという現実の需要に直面している。そして、ビル所有者は支出を止め、その資産内で追補する方式で制御を提供することに注目している。

BAS市場ではハードウェアが価格設定で遅れている間に、ソフトウェアとサービスは最も大きく収益を伸ばすだろう。

PSIA、入退と侵入の可用性概要を発表

PSIA(物理セキュリティ相互運用協議会)は、入退と侵入の可用性を、製品と一致性を確認する試験ツールとともに発表した。

詳細は下記を参照。

<http://www.securitysales.com/channel/system-integration/news/2013/03/20/psia-release-access-control-intrusion-detection-profiles.aspx>

BSIA、空きビル資産保護グループを発足

英国セキュリティ産業協会(BSIA)は、物理セキュリティ設備部会の下部に、空きビル資産保護グループを発足した。本グループはまず、空きビル資産保護のための作業の標準化を着手している。これは、建物が無人化になることで犯罪の攻撃対象となる可能性が増加して危険性が高まり、セキュリティ対策とサービスを提供するビジネスが必要になるとの趣旨に基づいている。

この場合の空きビルとは、それまで使用していたが転居などで一時的に無人となるビルを指している。一時的に使用されていないビルは放火や強盗また破壊行為に対して極めて脆弱である。明文化した規則は、業務協定および免責条件などを文書化する上で必要となる。

「この分野が拡大発展するに伴い、この分野のセキュリティ専門家が誕生することで、空のビル資産保護グループを設置した意義を果たすことになる」とジェームズ・ケリーBSIA会長は述べている。

このグループの発足は、空きビル資産管理のセキュリティ専門家の要件を明確にすることになると見ている。事実、2012年に事務所で6万件の金属窃盗犯罪が発生したが、小売店の閉鎖が10に増加していることから、その件数はさらに増えることが予想される。こういった事態に対応するためにも、今後の詳細規定の策定を急ぐ必要がある。

船舶基準答申書、船舶内での映像監視設置の義務付けを記載クルーズ・ラインズ・インターナショナル協会(CLIA)は、国際海事機構(IMO)法務委員会がロンドンで開催した会議で、犯罪報道のための国際基準、政府間協力、証拠維持と犠牲者の世話に関して共同スポンサとなるというCLIAの提案基準を採用したことを賞賛した。この基準には、映像監視システムの導入を船舶会社に要求することや、2010年に米国が制定した航行船舶内の保全と安全に関する法にある幾つかの項目が含まれている。

2011年にCLIAはIMOに初めて提案した。そして、その基準を世界的に採用することを推進するという協会の活動を継続することを確認した。CLIA以外の他の共同スポンサは、英国、国際船長協会と空港警察と海港警察国際協会だった。米国もこの提案を支持した。

IMO法務委員会は、組織内の作業により採用を実現するため、2年ごとに11月に開催される会議の決議として世界基準を提出するところである。その間CLIAは、会員の有する全船舶でこれらの包括的な基準の実現を促進するために、既に活動している。

基準には、2010年に米国が制定した航行船舶内の保全と安全に関する法(CVSSA)の多くの項目が含まれている。支援を受けている航行産業と米国港湾で入出港しているCLIA会員の船舶は既に実行している。

米国SIA、移転時にセキュリティ・システムを一新

米国セキュリティ産業協会(SIA)は、メリーランド州にある新本部のセキュリティ用として包括的なIP監視システムを稼働させた。世界のセキュリティ産業の利益の保護と促進を図る非営利団体である米国SIAは、従業員と来客の安全確保と犯罪阻止そして全イベント記録用に、MOBOTIX社製メガピクセル・カメラとVMSを使用している。本案件のシステム構築は、フォース・セキュリティ・ソリューションズ(FSS)社が担当した。

米国SIAは、本部をヴァージニア州からメリーランド州に移転したばかり。新本部は乗降客の多い駅に隣接した場所にある。そこで、どの方向からでも通路を見通せるようにしてビル内外の入退を厳格に管理するために、360度視界を確保できるドームカメラと、双方向音声と高解像度で180度の視野を確保できる内線装置を設置した。

カメラはカメラ内で画像処理するため、通信帯域の使用幅を抑えることができた。さらに、メガピクセル・センサとヘミスフェリック(半球全方位)技術を有するカメラを採用した結果、従来カメラでは14台程度必要だったものを6台のカメラの設置で済んだ。

また、内線装置をオフィス室外に設置したことで、エレベータとロビーの様子が常時視認することができ、さらに入退管理機器としての機能も使うことができる。それにより、SIAは、受付段階で訪問客を特定することができるようになった。

また使用しているVMSは、いずれのカメラにもアクセスすることができ、さらにそのアクセス権をシステム管理者が簡単に設定することができる。しかも本VMSは無償で入手することができる。

次世代VMS必須の要件とはなんでしよう。

それは一人一人、一社一社とニーズは違っても、
最終的には経営の根幹的プラットフォームの一つになり得る事です。
そして極小規模から巨大なシステムまでシームレスに。

- メディアルーター、リダイレクターで数万カメラ、数千クライアント保証
- マルチベンダー ip カメラ、業界初 ONVIF Profile S 準拠
- スマートフォンカメラ機能「ドコかめ[®]」
- アクセスコントロール
- LPR (自動車ナンバー読取)
- IP-PBX (SIP) インターフォン
- 画像解析
- 侵入監視
- 資産管理
- 高度なSDK (ネイティブ.net から .net マクロまで) による各種システムとの統合をサポート。

それが Genetec 社
Security Center です。

ONVIF Profile S 準拠により、ONVIF で画像解析、音声、I/O をサポート。
Canon 社モデル VB-H41 で上記機能を利用可能。

あなたの欲しいがある。 www.javatel.co.jp ◆お問い合わせメール info@javatel.co.jp

Javatel

Video Intelligence

株式会社ジャバテル

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-北1-21 八千代ビル東館3F
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155
支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル3F
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834

会社案内とご挨拶

ジャバテルは個人、企業、国家機関などの生命と財産を守る為の高度なセキュリティシステム、企業の品質、生産性の向上、利益を最大限、損失を最小限にする為のソリューションを提供しています。

世界No.1 東京スカイツリーの監視セキュリティにGENETEC社のOMNICASTが採用されました。700台弱のメガピクセル・カメラをシームレス統合した世界クラスのセキュリティを実現しています。



最新技術で犯罪に対峙する警察

警察官は日々の現場で数え切れないほどの危険に遭遇する。危険な犯罪者を識別するのが警察官の任務で、この能力は一般大衆の安全を守るために不可欠だ。しかし、現場の警察官は 警察署に配備された一連の技術に依存するだけでは済まない。警察官は正確な判断を下し、効率よく動かなければならない。警察向けの技術開発は、現場の警察官の能力を強化する可能性に満ちている。本特集では、現場の警察官の取り締り能力を強化する最新の技術開発動向を紹介する。

近年、警察の取り締り能力を強化する技術には2つの傾向が見られる。1つは軍事技術の採用の増加で、もう1つは生体認証技術の利用の増加だ。

軍事技術は先進的で洗練されているが高価である。しかし、こうした技術の需要の高まりが世界中の警察で見られる。これは、警察が厳しい予算の範囲内

で投資効果を最大限に高めようとしていることを物語っている。

警察の現場活動での生体認証技術の採用増加は、短時間での正確さと効率を要求していることを示している。現場の警察官は、生体認証技術を使用して、数分で個人を正確に識別し、必要に応じて行動を起こすことができる。しかし、注

目すべきは、犯罪科学捜査を支援するDNAコーティング弾丸など、持ち運び可能な生体認証アプリケーションと、業種別市場向け固有の技術である。本特集では、警察向けの監視、識別技術開発に焦点を当てる。

最新技術

今日の犯罪者は、緻密に計画した巧妙な犯罪を企てるため、警察は、地域社会の安全維持を支援する技術に目を向けつつある。犯罪は、いつ、どこで起こるかわからない。そのため、携帯用監視ツールから生体認証機器に至るまで、正確さが特長である携帯機器が極めて重要になる。今日の警察は、既存の技術と新しい技術の両方を利用して、これまでにない正確さで犯罪に対応することができる。

監視カメラをはじめとする視覚補完機能は、警察の有用な道具になる。しかし、監視カメラは予め設置され、固定されている。警察官の追跡中、監視カメラは犯罪者を追うことはできないので、カメラを設置していない森林地帯では役に立たない。一方、雑踏の監視を柔軟に行う目的には有用だ。警察官は、公衆と自らの安全のため、無人操縦機や無線操縦ロボットカメラを利用し、生命を危険にさらすことなく危険な状況を観察し、広範囲を見ることが可能な視覚補完機能を利用することができる。

顔認識メガネや殺傷力のないタグガン、DNAを保持する弾丸に至るまで、可搬型の生体認証機器は、警察活動にかつてない正確さと迅速さをもたらす可能性を秘めている。警察は、犯罪者を正確に特定するために貴重な時間を割きつつも、より多くの事件に対応できるようになり、その結果地域社会の安全が高まる。

無人操縦機: 空を飛ぶ眼

警察は、最新技術の一つとして無人操縦機の配備を進めている。監視や事故調査、機密情報の収集や自然災害の管理、重要な社会基盤の保護や戦術、暴動の鎮圧や捜索活動、救助活動など、世界中の



▲今日の警察は、既存と最新の技術の両方を利用して、これまでにない正確さで犯罪に対応することができる。

法執行現場で、無人操縦機の使用が増えている。

従来から、無人操縦機は洗練された軍用監視技術だった。しかし、近年、世界中の警察が無人操縦機の購入を進めており、政府も、民間部門での無人操縦機の配備を検討している。さらに、無人操縦機の価格はパトカーとほぼ同程度まで低下しており、予算内で購入が可能と判断している。

米国では、議会と無人操縦機業界そして法執行機関において、無人操縦機の迅速な商用配備の要求が高まっている。米国議会は、2012年2月に無人操縦機の米国上空の飛行を許可する法案を通過させた。さらに、Forbes.comのプライバシー問題担当カシュミル・ヒル記者によれば、最近、議会は630億米ドルの基金を承諾し、2015年までに無人操縦機をいかに商用利用するかの詳細を策定するよう連邦航空局に命じた。例えば、連邦航空局の使用規範によると、警察の無人

操縦機は、夜間と人だかりの周辺や真上を飛行してはならない。また、飛行高度は122m以下でなければならず、いかなる時も操作者と監視者の視界内を飛行しなければならない。現在、法執行機関が無人操縦機を使用しているのは、マイアミ郡とヒューストン市の2地区だけである。

他の国々も、無人操縦機の技術を取り入れようとしている。オーストラリア認定無人機運転者協会ジョウ・ウルリ理事長は、無人操縦機は現代の警察装備として不可欠で、ある状況では戦術上の優位性を得たい場合や、安全でない状況に突入する警察官の危険を排除する目的で使用できると考えている。2012年3月、ある地方紙は、警察がヘリコプタより経費のかからない代替手段として無人操縦機を配備し、犯人の追跡や麻薬栽培畑の探査、行方不明者の捜索に使用することを検討中と報じた。こうした無人操縦機の配備に関して、警察当局は詳細情報を



▲ 世界中の法執行現場で、無人操縦機の使用が増えている。

公開していないが、オーストラリア警察連盟の最高責任者は、いくつかの警察管区で無人操縦機の試用を進めていることを公表した。また、隣国ニュージーランドでは、捜査で無人操縦機を試用しており、数ヶ月以内に技術の使用の継続の可否を決定する予定である。

インドは、警察の無人操縦機の配備の点で先行しているようだ。2011年、マハラシュトラ州政府は警察の装備が十分との批判を受け、約2,000万米ドルの基金から拠出する設備購買リストに無人操縦機24機を加えた。他国と同様に、インド海軍および陸軍は、以前から無人操縦機を軍の装備に加えている。

無人操縦機業界では、オーストリアの



▲ 顔認識メガネを使用して、毎秒400の顔をスキャンし比較することができる。

ジョアンネウム・リサーチ社が、ほぼリアルタイムで画像を収集できるシステムと、警戒意識を高める目的で最新の状況の写真を受信する機能を既に開発済みだ。こうした機能は、森林火災や洪水、地震や地滑り、テロ攻撃などの状況に、迅速に効率良く対応する必要がある緊急対応チームにとって極めて重要だ。

無線操縦ロボットカメラ

無線操縦ロボットカメラも、軍用から警察用へと移行しつつある。軍隊と同様に、警察官や警察犬がある状況に突入するのは危険または視界が悪い場合もある。このような状況に対応するため、警察が、米国陸軍や海軍など政府部門向け

に無線操縦ロボットカメラを製造しているリコン・ロボティクス社の製品を採用し始めた。無線操縦ロボットカメラは、無線リモコン制御で動作し、移動したり坂を登ったりするための電動機と特殊な車輪を装備している。

米国ミネアポリス市のエデン・ブレイリ警察では、機動隊が出動のたびに配備する強化部隊という意味のフォース・マルチプライヤという装置の導入を検討している。機動隊は、この装置を利用して安全性と運用効率を高めることができる。例えば、この装置に爆発物検知用のロボットカメラを搭載し、車両の下を移動させ、不審物を探し出すことができる。この装置を使用すれば、万一の場合9千ドルの装置を失なうかもしれないが、警察官や警察犬の生命が危険にさらされることはない。

生体認証は嘘をつかない

顔認識や指紋読取またDNA鑑定など、法執行設備での生体認証の応用は、期待に胸躍る新技術だ。顔認識技術は、調べられていることを相手が意識しない監視に類似した手法であることから、生体認証の応用技術として急速に成長しつつある。

ロボコップメガネ

スペインのエクス・サイト社は、警察の法執行に対応した顔認識機能を備えた眼鏡を提供している。この技術は、2014年のワールドカップと2016年の夏季五輪大会で、広く使用される予定だ。2014年のワールドカップでは、最大50m離れても比較可能な4万6千の生体認証機器を使用して毎秒400人の顔を読み取り、照合できる顔認識メガネを現場の警察官に着用させる。「ロボコップメ

ガネ」と呼ばれるこのアプリケーションでは、映像解析、顔認識、車両標識認識ソフトウェアが動作する携帯機器に、双方向の映像・音声システムを搭載した高性能なウェアラブル・コンピュータを接続する。「職務質問したり身分証明書の提示を求めたりするわけではないので、相手に警察官であることを意識させない道具だ。あとの仕事はコンピュータがやってくれる」とサンパウロ市憲兵レアンドロ・パバニ・アゴスティニ少佐は語る。

本システムは現在、サンパウロをはじめ幾つかの市に配備されており、サッカーの試合やコンサート、ワールドカップまでに開催される様々な公開行事で試用される。昨年、顔認識メガネがブラジ

ルで試用されたことでその価値が証明済みだ。警察は、この技術を利用して群衆を撮影した映像を調べ、サッカーのチャンピオンマッチで発生した、2人の死者を出した暴動の扇動者を見つけ出すことができた。事件の再発防止のため、この扇動者はブラジルのサッカー競技場への入場を禁止された。現在、これらの顔認識メガネは、エジプトの米軍基地にも配備されている。エクス・サイト社は、サッカークラブであるバルセロナの競技場でこの技術を使用できるよう交渉中だが、スペインのセキュリティ法が障害になり、この技術の一般利用は見送られるだろう。これらの顔認識メガネは40のポイントで収集した顔型データを処理用に

遠隔本部に送信するだけで、個人に関するデータは一切保存しない。

エクス・サイト社では、顔認識だけでなく、顔認識や車両標識認識だけでなく、火災検知や人や犬猫などの動体を検出し、数を数えることができる完全なプラットフォームを設計する計画だ。

犯罪者、貴重品のタグ付け

生体認証技術を利用して、犯罪者を識別する新たな方法を開発することができる。警察官は、生体認証技術を搭載した殺傷力のない武器を使用し、安全な距離を保ちつつ、犯罪者をタグ付けすることができる。盗難防止の目的で貴重品に付けるタグも、同じ技術を使用している。



貴方のセキュリティ
システムの
DNAは？



自在に選べる、 堅固な統合セキュリティシステム

実績豊富なオムニキャスト・ビデオ監視システムを搭載したSecurity Centerから始めましょう。入退室管理、侵入検知、資産監視、ビル管理などのビジネスシステムが次の展開となります。すべてのシステムと設備でモニター、アラーム管理、レポートを統合します。進化する統合のかたちをご覧ください。

www.genetec.com/jp オンラインで詳細を学ぶ

ビデオ監視システム | 入退室管理システム | ナンバープレート認識システム

革新的ソリューション

Genetec



▲ 警察は、地域社会の安全維持を支援する技術に目を向けつつある。

例えば、セレクトクタDNA社は合成DNAと紫外線トレーサを使用してペレット弾を製造している。警察は、最大30mの距離から拳銃やライフルでこのペレット弾を撃ち、暴動の扇動者などをタグ付ける。アプライドDNAサイエンス社も、同様にDNA技術を使用してマーキングを行い、偽造や貴重品、輸送中の現金の盗難に対抗するソリューションを提供している。警察はこのDNAマーカを使用して、容疑者を確認ないしは除外し、最終的に逮捕・起訴に至ることができる。

弾丸に残る狙撃者の生体認証

弾丸発射後の薬莖^{やつきょう}から狙撃者の証拠を得ることはほぼ不可能だ。通常、弾丸を発射した人物のDNA証拠は、弾丸発射時の熱により破壊されてしまうので、DNAレベルの有用な証拠を得るのは無

理な話だ。しかし、ナノマテリアル・エンジニアのポール・サーモン氏が率いる研究グループは、弾丸発射後の薬莖からDNA証拠を検出する手法や、狙撃者をタグ付ける手法を現実にするかもしれない。同グループは生体認証情報を保持し、後日法執行官が生体認証情報を採取できる確率を高める手法を見出した。

この革新的なソリューションは、弾丸を酸化アルミニウムと尿素の溶液に浸し研磨された剛体面を残すことで、より多くの皮膚細胞を回収できるようにし、薬莖の底部を粘着性の花粉粒と二酸化チタンの混合剤でコーティングすることにより実現が可能となる。同グループは、弾丸を使用した試験を行なった結果、DNAを回収できる可能性が53%高まったことを発見した。この技術を応用するには弾丸の製造方法を変更する必要があるため、同チームは英国の当局関係者と

協議中である。この技術はまだ開発段階だが、多くの関係者が動向を注視している。「関心を持つべき素晴らしい研究開発だ」と英国陸軍向け銃弾製造企業のBAEシステムズ社は評している。

高速追跡を不要にするGPSを搭載した矢

高速追跡は、容疑者や警察官そして一般大衆までの人々を危険にさらす。追跡は危険だけでなく、保険金の支払いや医療費、労災補償や逸失賃金など、年間に何億ドルもの損失が発生している。スター・チェイス社は、この危険を最小限に抑える目的で、パトカーから逃走車両にGPSを搭載した特殊な矢を撃つシステムを開発した。警察官は高速追跡を中止し、安全な距離を保って車両の動きを追跡することができる。

同社によれば、本システムは初動追跡時に警察官が注意散漫にならずに矢を発射できるように設計されている。レーザー照準も装備されており、パトカーのフロントグリルから圧縮空気銃で発射される。システムは約5千米国ドルと安価だが、この他にGPS監視の月額料金が必要となる。

犯罪者よ、注意せよ

最近の犯罪者は高度な技術を利用することが多い。そのため、法執行機関である警察は、新しい技術を活用して犯罪に対抗しなければならない。本特集で紹介した新技術はどれも、警察の効率と透明性を高めるという目的に適い、一般大衆に利益をもたらすという期待にあふれる技術である。



2013年の東南アジアでの事業拡大は SECUTECHタイとSECUTECHベトナムで

東南アジアは最も急成長している経済地域で、世界的な経済不況とは無縁です。GDPはタイが7.5%、ベトナムが5.3%です。日本はタイとベトナム両国でトップの海外投資国で、日本企業は商機を獲得する上で優位性を持つことができます。
この機会をお見逃しなく！

タイ

- 東南アジア最大のセキュリティ市場で30%の年成長率を誇ります。
- 日本からの投資は120%増加しており、2012年7月までで108億ドルに達しています。
- 好況の市場は、工業地域、ビル、小売、社会基盤整備などです。

secutech

THAILAND

2013年7月3日～5日
バンコック国際貿易展示場(BITEC)
タイ バンコック市
www.secutechthailand.com



日本窓口:

ASJ合同会社 海外事業部門
TEL: 03-6206-0448
FAX: 03-6206-0452
E-MAIL: komori@asj-corp.jp

ベトナム

- 東南アジアで上位の成長国です。
- セキュリティ機器、消防、保安機器の95%は輸入品です。
- 2012年第一四半期の海外直接投資では、日本が250ドルで第1位です。
- 好況の市場は、工業団地、ホテルとカジノ、商業ビルです。

secutech

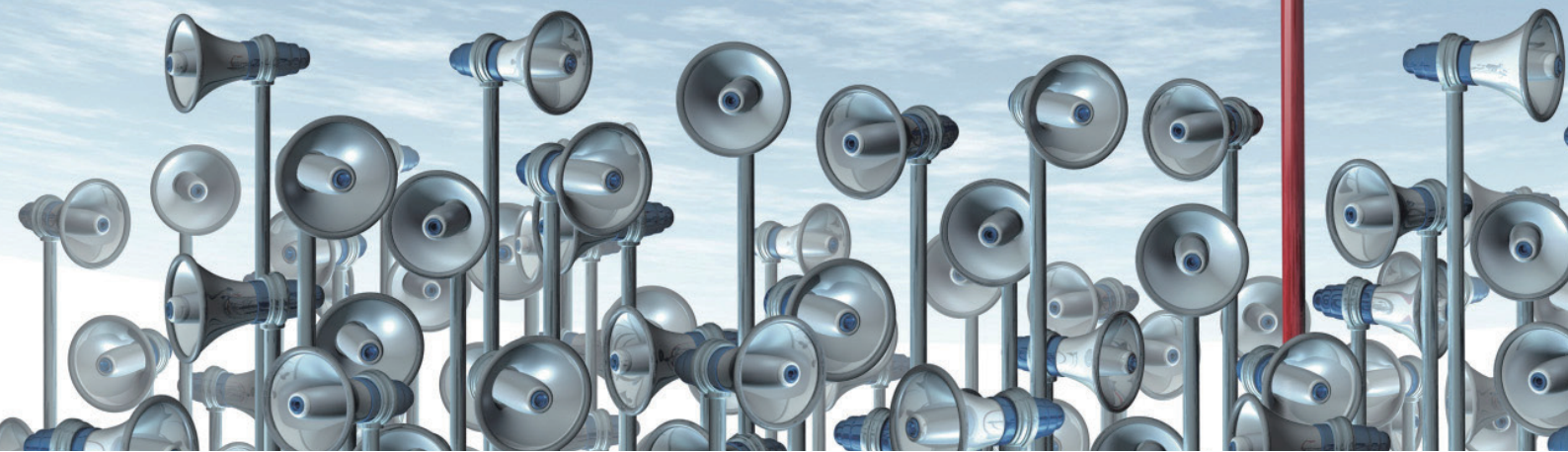
VIETNAM

2013年8月8日～10日
サイゴン展示会議場(SECC)
ベトナム ホーチミン市
www.secutechvietnam.com



際立った特長を有する メガピクセル・カメラ

2メガピクセル・ネットワークカメラが市場の標準になるにつれ、より低価格の製品だけでなく、特別注文のソリューションも登場している。ここでは、2メガピクセルカメラが、機能と保証、アフタサービスとマーケティング手法の点でいかに差別化を図っているかを解説する。



現在、2メガピクセルを超える5/8メガピクセル、さらには10メガピクセルの高解像度カメラが続々と登場している。しかし、標準になりつつあるのは2メガピクセル・カメラだ。理由は幾つかある。「カメラが2メガピクセル以上の解像度で撮影しても、主流のディスプレイはフルHDにしか対応しておらず、1台のディスプレイで画像全体を表示できない」とソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域ビジュアルセキュリティソリューション担当シニアマネージャのアレックス・イダ氏は語る。

また、画素数を増やしても、必ずしも画像の明瞭度、有用性の向上に繋がるとは限らない。「実際、解像度が高いほど、感度は大きく低下する。これは、セキュ

リティ・アプリケーションでは、特に暗所で使用する場合、考慮すべき重要な問題の一つだ」と同氏は言う。「高解像度で撮影するとデータサイズが大きくなるため、ネットワークの帯域幅や記憶装置の問題が発生し、システム統合時の支出も増大化する」。

センサの感度と帯域幅制御

メガピクセルの解像度になると、イメージセンサ上の画素が小さくなり感光性が低くなるため、メガピクセル・カメラが暗所で性能を発揮できるかどうかは、暗所性能に左右される。イメージセンサの違いが、良いメガピクセル・カメラと優れたメガピクセル・カメラの違いに繋がる。半導体上の画素数を増やすほ

ど、感光性が問題になる。ソニーは、この分野で多大な研究開発努力を続けてきた。「当社が開発、採用した2メガピクセル・カメラのイメージセンサのネイティブのアスペクト比は16:9だ。16:9の2メガピクセル・イメージセンサは、既存の4:3または5:4の2メガピクセル・イメージセンサよりも、各画素のピクセルサイズをより大きくすることができる。ピクセルサイズが大きくなったことで、フルHD解像度でも、感度を大幅に向上させることができる」とイダ氏は言う。「これは業界の決まり文句だが、解像度を上げるほど感度は低下する。当社の最新のセンサの感度が向上していることは、3メガピクセル・カメラで使用されているイメージセンサから切り出したフルHD



2メガピクセル画像を、当社が新たに開発したフルHD 2メガピクセル・ネイティブ画像と比べてみればわかる。

Vivotek社はネットワークカメラのパイオニアとして、画質と輝度、コントラ

ストとガンマ、画像の鮮明度の向上に多大な努力を行った。「当社画像担当グループは、カメラの画像試験、映像試験を何回も行ってきた。当社は、画像の調整パラメーターを多数持ち合わせている」と同社執行副社長スティーブ・マ氏は語る。「帯域幅の制御が2番目の差別化要因と言えるだろう。2メガピクセル・カメラは1メガピクセル・カメラより多くの帯域幅を消費するため、帯域幅をより効率よく使用できるように、多数の機能を開発した。当社は、SVC (Scalable Video Coding)、CBR (Constant Bit Rate)、クロッピング、ローカルストレージなど、考慮すべき理想的なカメラ設定に関して、システム構築者に助言を行った」。SVCは、映像データを解像度と画像サイズ、フレームレートが異なる複数の層に同時に分割し、様々な導入機器の要件とネットワーク条件を満たすことにより、帯域幅とプロセッサ資源のより効果的な管理を実現する。CBRは、データ伝送速度を柔軟に制御して安定した帯域幅を維持することができるため、ユーザは、実況表示用に上限モード、録画用に平均モードを同時に設定することができる。

マルチストリーミング

マルチストリーミング機能を使用することで、H.264とMJPEGなど、圧縮形式の異なる複数の映像ストリームを伝送することができる。このように複数のストリームを利用することにより、帯域幅を効率よく使用する表示と録画を容易に実現できる。メーカーはそれぞれ独自の手法を使用しているため、ストリーミングの可否と使用するストリーミング技術は、カメラに搭載されたプロセッサにより異なる。この機能を差別化の鍵として最大限に活用しているメーカーもあれば、これで流れが変わることはないと考えているメーカーもある。

ほとんどのメーカーは少なくとも2つのストリームの同時伝送をサポートしているが、3つまたは4つのストリームを独立して伝送できるメーカーもある。「現在、当社の高性能製品では、解像度が720ピクセル、1,080ピクセルの3種類のイメージセンサを使用している。4つのストリームの最大解像度とストリームのタイプ、すなわちHDストリーム、SDまたはHDストリーム、第1ストリームのコピー、録画用のiフレームのみのストリーミング、Motion JPEGストリームは、センサに



ソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域ビジュアルセキュリティソリューション担当シニアマネージャのアレックス・イダ氏



Vivotek社執行副社長スティーブ・マ氏



ボッシュ・セキュリティ・システムズ社 EMEA地区映像システム製品マーケティング・マネージャ アド・ビーマン氏



アビジロン社シニア・プロダクト・マネージャリック・ラムサイ氏

よって決まる」とボッシュ・セキュリティ・システムズ社EMEA地区映像システム製品マーケティング・マネジャのアド・ビーマン氏は語る。

アビジロン社は、独自仕様のHDストリーム管理機能を開発している。「この機能により、信号の表示品質を損なわずに、伝送と保存の段階で映像信号を管理できる。撮影した画像の必要な部分だけを操作者のワークステーションに送信するため、帯域幅の必要量を最適化できる。この機能を使用することにより、クライアントの帯域幅だけでなく、遠隔機器の処理負荷も大幅に低減することができる」と同社シニア・プロダクト・マネジャのリック・ラムサイ氏は語る。「この機能を使用すれば、複数のH.264圧縮映像ストリームを独自の方法で利用し、様々なトレードオフを克服することができる。H.264映像のマルチストリーミングが可能の場合、フル解像度のストリームと低解像度のストリームに適応した管理を行い、NVRと表示用クライアントにストリームを伝送することができる。低解像度ストリームを細部の表示が不要な概要ストリームとして使用すれば、多数のH.264圧縮映像ストリームを同時に効率良く表示することができる。あるストリームにズームインし、細部を表示する

と、そのストリームだけが自動的にフル解像度で送信される。その他のストリームは低解像度のまま維持され、画像の概要表示が行われる。その結果、ストリーミング全体の帯域幅を増大させずに、1つの映像ストリームで詳細を表示することができる」。

保証

顧客は、交換や常時メンテナンスが必要な使い捨てカメラなどを購入しながらない。カメラの保守点検に多額の費用がかかる場合もあるため、エンドユーザは諸仕様や機能、アルゴリズムばかりでなく、保証やアフタサービスにも注意を払う必要がある。ほとんどのメーカーが、2年または3年の保証を提供しているが、さらに長い保証期間が必要な場合、延長プログラムを提示する供給者もある。

一方、IQinVision社は、製品の大部分を5年間の包括保証付きで提供している。「当社の場合、オートバックフォーカス搭載製品とモータ駆動ズーム・フォーカス・レンズ搭載製品のみが3年保証だ」と同社製品マーケティング担当取締役アレックス・ドールデュン氏は言う。製造中止の機種についても「修理代はいただくが、保証期間が過ぎたカメラについても無料電話サポートを行っている」。

同社は、特にセキュリティ業界など極めて重要な業界では、製品や製造工程での品質に劣るメーカーが技術ソリューションの寿命を規定するのを顧客として許すべきではないと考えている。

マーケティングのアイデア

映像監視はSDからHDへ移行しつつある。HD映像の方がより明瞭な画像が得られるため、多くの新たな使用事例が登場している。メリットは明確だが、ユーザが新技術にどう対応すべきか、またこの技術に何を期待すべきかについて、まだ明らかになっていない。百聞は一見にしかずで、カメラや技術の動作を示すデモンストレーションを見るべきだ。こうしたデモンストレーションのもう一つの利点は、見る人との対話である。セキュベスト社は、インターネットの利便性を活かして、自社製2メガピクセル・カメラの詳細な情報とデモンストレーションをネット上で行っている。「顧客は、当社のウェブサイトでデモンストレーションを見ることにより、当社のカメラのHD画像と耐久性、デザインを確認することができる」と同社営業&マーケティングチーム部長エヴァ・チュウ氏は語る。

ソーシャルメディアを使用したマーケティングの普及の波を感じ取った



IQinVision製品マーケティング担当取締役アレックス・ドールデュン氏



セキュベスト社営業&マーケティングチーム部長エヴァ・チュウ氏



ブリコム社営業担当取締役マックス・ファン氏



LILIN社製造マネジャ スティーブ・フ氏

LILIN社は、東西文化の違いを理解した上で、導入現場の要求をより良く満たすべくマーケティング戦略を再調整したと同社製造マネージャのスティーブ・フウ氏と言う。

ネットワーク・ソリューション・プロバイダとしてスタートしたブリッコム社は、おもちゃの電車を使用して、フルHD画像の表示とワイヤレス伝送をリアルタイムで行うデモンストレーションを作成した。「当社は、特にプラグアンドプレイ、使いやすさ、オートフォーカス機能に注目してもらうため、2メガピクセル・カメラの対話型デモを作成した。当社は製品そのものだけでなく、ブランドの創生にも注力している。ハードウェアだけでなく、ソフトウェアと信頼性にも力を注いでいるという印象を与えたい」と同社営業担当取締役マックス・ファン氏は語る。

業種別市場向けのソリューション

商業ビル、教育、小売、交通輸送、市内監視、交通監視、空港監視、金融機関の監視などの業種別市場では、2メガピクセル・カメラの需要がある。「特殊な要求を満たす専用カメラを数機種、製品ラインナップに加えている。例えば、極端な高温や低温環境、カメラへのいたずらが多い場所など、最も厳しい条件で使用できるように設計されたカメラを用意している」とビーマンズ氏は言う。「刑務所、病院、エレベータ内に設置されている耐衝撃性構造カメラがその一例だ。セキュリティ、車両監視、高度道路交通システムなどのアプリケーションで利用できる車両標識の高解像度画像を伝送する専用カメラも用意している」。

アクシス・コミュニケーションズ社やブリッコム社などのメーカーは、砂漠に近い環境に対応できるカメラを設計製造し



アクシス・コミュニケーションズ社製造管理担当取締役エリック・フランク氏

ている。「地球の陸地表面積の約3分の1を占める砂漠地帯にある採鉱や油田、ガス田やパイプライン設備、都市での極度の高温と砂嵐などの厳しい条件に耐えることのできる監視カメラが必要とされている」とアクシス・コミュニケーションズ社製造管理担当取締役エリック・フランク氏は語る。「可動部品を搭載したカメラを砂漠で使用する場合、高温に対応できる動作温度特性を備え、高信頼性があり、最適な動作を保証できるカメラが必要になる。直射日光に晒されるカメラは、周辺温度よりも15度以上高くなる。気温が45℃の場合、カメラは60℃以上の高温で動作しなければならない。このような高温下で動作するように設計されていないパン/チルト/ズーム・カメラは消耗が激しく、破損し、寿命が短くなる懸念がある。当社は、動作温度範囲が-20℃~75℃のカメラも用意している。これらのカメラは、先進の温度制御システムを搭載しており、急速な温度変化に対応して結露を防止する。これらのカメラは、温度ショックや太陽放射さらに砂塵など、様々な環境条件に対応した設計が施されている」。

ブリッコム社は、ロシア、中東、タイ、インドネシア、オーストラリア、ニュー



ハイキビジョン社製造マネージャアドラ・ウ氏

ジーランドなど、極度の気象条件下で使用できる専用カメラを発売した。IP67定格準拠のこれらのカメラは、冷却ファンとヒータを内蔵して、屋外環境や厳しい気象条件に対応することができる。

都市の急速な拡大に伴い、ハイキビジョン社は交通監視市場への参入のチャンスをつかっている。「細部を認識し、画像を高速で撮影できる当社のソリューションは、スマートで安心できる交通監視を実現する」と同社製造責任者アドラ・ウ氏は言う。「解像度を高めた当社のソリューションを使用することにより、潜在的な状況をより迅速に評価できるだけでなく、そのような状況の発生時に適時に対応することができる」。

2メガピクセル・カメラは新たなビジネスチャンスをもたらすが、メーカー各社は、特に昨今の不安定な経済状況下で事業を継続できるように、新たなサービスモデルとソリューションに目を向けるべきだ。セキュリティにおいては、信頼性が常に最重用視されてきたが、様々な業種別市場や地域また文化の顧客の要求に応えるには、既成概念に囚われずに物事を考えることが、財政面でも経営面でも適切と言える。



ネットワークカメラ: 基本仕様と最上位仕様の比較

機能	基本仕様	最上位仕様
CPU	CPU: 533 MHz (SoC CPU) フラッシュメモリ: 32MB RAM: 256MB DDR	CPU: 930 MHz (SoC CPU)またはARM 1176 フラッシュメモリ: 64MB RAM: 2GB DDR
イメージセンサ	センサ型式: 1/2.8インチSony Exmor CMOSセンサ センサ解像度: 2,048×1,536ピクセル S/N比: 50dB以上	センサ型式: 1/1.8インチSony Exmor CMOSセンサ センサ解像度: 10,240×1,920ピクセル(20メガピクセル) S/N比: 55dB以上
最低照度	白黒: 0.3ルクス (F1.3) カラー: 1ルクス (F1.3)	白黒: 0.01ルクス (F1.2) カラー: 0.1ルクス (F1.2)
圧縮およびストリーミング	H.264 / メガピクセルEG-4 / M-JPEG 複数のストリームを同時伝送可能	H.264 / メガピクセルEG-4 / M-JPEG/M-JPEG-2 複数のストリームを同時伝送可能
ビデオ設定	マルチプロファイル画像管理 昼間/夜間/日没時/ユーザ1/ユーザ2 自動露出制御 手動露出制御: 1/24,000 ~ 1/5秒 手動ゲインコントロール: 1X ~ 15X 手動ホワイトバランス制御: 2,000K ~ 7,000K	マルチプロファイル画像管理 昼間/夜間/日没時/ユーザ1/ユーザ5 自動露出制御 手動露出制御: 1/30,000 ~ 1/5秒 手動ゲインコントロール: 1X ~ 15X 手動ホワイトバランス制御: 1,400K ~ 9,400K
S/N比	50 dB以上	55 dB以上
画像解像度	3M: 2048×1536 (15フレーム/秒) 2M (フルHD): 1920×1080 (30fps) 1M (HDTV): 1280×720 (30fps)	20M 10240×1920 (30fps) 3M: 2048×1536 (15fps) 2M (フルHD): 1920×1080 (30/60fps) 1M (HDTV): 1280×720 (30/60fps)
イベントトリガー	動体検知/スケジュール/自動検知/デジタル入力	動体検知/スケジュール/自動検知/デジタル入力/ラインカウント
イベントアクション	ストリーム/FTPによるスナップショット配信/電子メール/Samba/SDカード HTTP/電子メール通知/デジタル出力	ストリーム/FTPによるスナップショット配信/電子メール/Samba/SDカード HTTP/電子メール通知/デジタル出力
音声ストリーミング	両方向音声をサポート	両方向音声をサポート
音声圧縮	G.711、AMR (8 kHz、モノラル、PCM)	G.711、AMR (8 kHz、モノラル、PCM) G.729
音声入出力	Line-in/Line-out	Line-in/Line-out
通信プロトコル	イーサネット: 10/100Mbps RJ-45コネクタ×1 対応プロトコル: TCP/IP、UDP、ICメガピクセル、DHCP、NTP、DNS、DDNS、SMTP、FTP、HTTP、Samba、PPPoE、UPnP、RTP、RTSP、RTCP、IPv6	イーサネット: 10/100Mbps RJ-45コネクタ×1 対応プロトコル: TCP/IP、UDP、ICメガピクセル、DHCP、NTP、DNS、DDNS、SMTP、FTP、HTTP、Samba、PPPoE、UPnP、RTP、RTSP、RTCP、IPv6
電源入力	DC12V/ 1A (電源) PoE:802.3af準拠	DC12V/ 1A、24VAC (電源) PoE:802.3af準拠
インターフェース	RJ45イーサネット・ケーブルコネクタ 汎用I/Oターミナルブロック (DI/DO、RS485を含む) 外部マイク/ライン入力 外部音声出力 リセットボタン microSD/SDHCメモリカードスロット TV出力 (ビデオ出力) 3G USB ドングル	RJ45イーサネット・ケーブルコネクタ 汎用I/Oターミナルブロック (DI/DO、RS485を含む) 外部マイク/ライン入力 外部音声出力 リセットボタン microSD/SDHCメモリカードスロット TV出力 (ビデオ出力) 3G USB ドングル USB (画像ダウンロード)
最大消費電力	6W	4W
表示システムと必要条件	OS: Microsoft Windows 7/Vista/XP/2000 ブラウザ: Mozilla Firefox、Internet Explorer 7/8以上、Safari、Google Chrome 携帯電話: 3GPPプレーヤ Real Player: 10.5以上 Quick Time: 6.6以上 VLC	OS: Microsoft Windows 7,8/Vista/XP/2000 ブラウザ: Mozilla Firefox、Internet Explorer 7/8/9以上、Safari、Google Chrome 携帯電話: 3GPPプレーヤ Real Player: 10.5以上 Quick Time: 6.6以上 VLC MS Media
動作条件	動作温度: 0℃ ~ 50℃ 動作湿度: 10 ~ 80%	動作温度: 10℃ ~ 75℃ 動作湿度: 10 ~ 90%
認証規格	FCC、CE	FCC、CE、UL
保証	限定2年間保証	5年間保証

ジャバテルのプロダクツ／サービス／クラウドのご紹介

HD-SDI DVR

HIKVISION
7204HFHI-ST-2T
ズバリHD-SDI フルHD
4カメラ120fps 2TB HDD
希望小売価格
¥165,000-

MAX
65%
OFF

- ◆最大8TB迄対応
- ◆PCLスで軽々と表示
- ◆HDMI VGA 出力
- ◆スマートフォン
対応、何と録画再生
もサポート
- ◆リモコン操作
- ◆CMSサポート

NVR

HIKVISION
7604NI-SEP-1T
4POEスイッチ内蔵
4 ipカメラ フルHD 120fps
1TB HDD
希望小売価格 ¥138,000-

ONVIF
7616NI-SP-1T
8POEスイッチ内蔵
16 ipカメラ フルHD 480fps
1TB HDD
希望小売価格 ¥201,000-

- ◆CMSサポート ◆Genetec VMS統合

ONVIF
9632NI-SP-1T
32 ipカメラ フルHD 960fps
1TB HDD
希望小売価格 ¥466,500-

- ◆マルチベンダーカメラ
- ◆リモコン操作



Hybrid NVR

ONVIF
8004HFI-ST-1T
8カメラ 4 ipカメラ フルHD 480fps
+ 4アナログカメラ 1TB HDD
希望小売価格 ¥340,500-

9016HFI-RT RAID 0 1 5 10 モデル
32カメラ RAID 16 ipカメラ フルHD 480fps
+16アナログカメラ 480fps 1TB RAID1 HDD
希望小売価格 ¥817,500-

既設アナログからIPの移行に最良の選択です。

- ◆最大32TB迄対応 ◆PCLスで軽々と表示 ◆スマートフォン対応、何と録画再生もサポート ◆CMSサポート ◆Genetec VMS統合
- ◆マルチベンダーカメラ ◆リモコン操作

HIKVISION



HIKVISION レコーダー
リモコンは標準添付です。

NVR(エイロク)built on VMS

ONVIF
MQ-4GSC-1T1S mini キューブ
世界最高峰 VMS GSC Genetec Security Center 搭載
4 ipカメラ フルHD 240fps 1TB HDD 64GB SSD
希望小売価格 ¥498,000-



MQ-32GSC-9R2S mini キューブ
世界最高峰 VMS GSC Genetec Security Center 搭載
32 ipカメラ フルHD 960fps 6TB RAID5 HDD and 64GB RAID1 SSD
希望小売価格 ¥1,280,000-



圧倒的な性能と高度なソリューションノウハウが
このプライスで提供可能です。 プラットフォームならGSC ※写真は1Uモデルです。

統合

ニーズ

クラウド

PBX

ドコかめ®

LPR

引き合い多数!!

モバイルカメラ
ドコかめ®は災害
対策、巡回警備、
リモートメンテナ
ンスと活躍します。

お客様は機能を欲しが
っているでしょうか?
いいえ、欲しいのはソ
リューションサービスと信
頼性、可用性、シームレ
スな操作と拡張性です。

世界最高レベル
あのMicrosoft Azure
データセンター上で実現
します。
Stratocast by Genetec

Genetec社のプロダクツは大規模向けで、操作が難しいのでは? 稼働までの設定調整が難しいのでは?

「良いソフトウェアの機能とは複雑なものをシンプルに見せるものです。」 Grady Booch
「長い手紙を書いたのは短くする時間がなかったからです。」 Blaise Pascal, 1657

- ◆全社員3000人で映像リソースを参照、共有? メディアルーター&リダイレクター
- ◆電話、インターフォン連携? SIPゲートウェイ
- ◆高速度撮影カメラ(60fps)はサポート? h.264 60fps完全対応、一コマ再生OK
- ◆入退室との連携?完全統合(Synergis)と他社プラグイン
- ◆自動車ナンバー読取と連携? LPR Autovu 対向速度 300Km
- ◆他のERPシステムとの連携? カスタムタスク組込みを.netで完全対応
- ◆クラウドソリューションとの連携? Stratocastとフェデレーション統合
- ◆センサ侵入監視パネルは? プリポストアラームで完全対応 + カスタム対応

北米 No.1 国内 No.2 よそで断られた、コストが合わない、絶対に
負けれない商談。何なりとご相談ください。

VMS [Genetec マイルストーン エグザックビジョン 他] NVR [GVD NUUO 他]



株式会社 ジャバテル
Osaka 06-6354-0100 Tokyo 03-6658-8726
www.javatel.co.jp
info@javatel.co.jp

HIKVISION

赤外線
PTZドーム
80mレンジ

VGA ¥269,800
1.3MP ¥400,500
2MP ¥495,000

屋外
パリアフォーカス
固定ドーム

VGA ¥96,400
1.3MP ¥168,500
2MP ¥164,000
3M 5M 有り

屋外/屋内
固定ドーム

VGA ¥45,000
1.3MP ¥51,800
2MP ¥58,600

屋外/屋内
弾丸形状

VGA ¥80,600
1.3MP ¥107,700
2MP ¥12,570
電動VF 3M 5M 有り

VGA ¥62,600
1.3MP ¥85,100
2MP ¥89,600
3M ¥121,200

PLANET
ギガビット
コンバータ

GT-802 ¥27,000
GT-802S ¥31,500
WDM仕様 15Km
GT-806A15 ¥44,100
GT-806B15 ¥62,200

PLANET
24ポート POE + 4TP or
SFP ギガビット ¥143,200-

VGA ¥39,600
2MP ¥44,600

VGA ¥71,600
1.3MP ¥107,700
2M 3M 5M

屋内VF
ドーム
電動VF

VGA ¥71,600
1.3MP ¥107,700
2M 3M 5M

ビジネスは
決断 業績 UP
特約店大募集
info@javatel.co.jp

MAX 65% OFF はあくまでも個別取引条件(パートナー契約内容と年間取扱高)における最大値です。勿論、スポット取引も大歓迎です。

情報化を進め ロスを改善する小売業

小売業者は、事業規模の大小に関わらず、ビジネス情報化アプリケーションを導入することで競争力や価値を高め、既存の監視設備を有効に活用することができる。目標を明確にし、結果を伴う積極的なマーケティング活動を展開することで、小売業界の重大な問題であるロス(損失)を改善し、収益を高めることができる。

グローバル経済の視点から見ると、小売業界も他の多くの業界と同様、大きな試練に直面している。経済状況が厳しくなれば、高級品の購入は敬遠され犠牲になるのが常であるため、アパレルや貴金属などは、より厳しい状況になるだろう。他にも小売業界では熾烈な競争、薄利と縮小から生じる「内外」のロスなどの課題に直面している。

小売リサーチセンタによると、2011年の全世界の小売業のロスは約1,190億米ドルに達した。価格設定の誤りや請求書の誤記、管理上の誤りなど、社内の誤りによるロスは194億ドルで、損失の16.2%を占めている。従業員による万引(内引)による損失は417億ドルで、全体の35%を占め、万引、組織的な犯罪による損失は515億ドルで、43.2%を占めている。

従来、小売業界における映像監視システムは、安全とセキュリティの確保のためだけに使用されてきた。そのため、既存のアナログ映像監視システムでも業務に対応することができていた。アナログ映像システムの大きな弱点は、犯罪行為を検知したり、セキュリティ要員に知らせたりすることができないことで、さらに、映像品質が悪いことが犯罪科学捜査上の効果を減じている。

昨今、小売業者向け映像監視のニーズは変化し、より高度な機能が求められるようになった。小売業者はアナログ映像システムの限界を認識し、IPシステムがもたらす利点を高く評価している。「今日のネットワーク映像システムでは、カメラを複数の目的で使用できる。業務担当部署でもセキュリティ担当部署でも、カメラシステムを様々な目的で利用することができる。現在、業務用のヒートマップや待ち行列の管理など、実に多くの用途がある」とアクシス・コミュニケーションズ社小売事業開発担当取締役ヨハン・アケッソン氏は語る。

IPベースの監視システムは事前対応型の監視と表示機能を備えているため、小売業者はロスを防止し、売上を伸ばし、ビジネス情報化アプリケーションを導入することができる。また、業務関連計画に基づいて意思決



定を下し、さらに売上を伸ばすこともできる。IP技術と映像内容分析ソフトウェアを組み合わせ、単に生き残るのではなく、ロスを低減し、売り上げを伸ばし、成長している小売業者も存在する。IPベースの管理システムを導入することで、スタッフの就業時間や勤怠の管理、在庫管理、顧客層や行動に基づく効果的な販売促進による利益の向上などを可能にする経営管理機能、複数のチェーン店の管理や携帯機器による管理を可能にする遠隔監視機能といった付加価値が得られる。さらに、ボーナス的な利点に過ぎないが、クラウドベースのソリューションやモバイルコマースソリューションなども容易に実現できる。

さらに、小売業者は、設備のTCO(総所有コスト)の低減、裁判所が認める犯罪科学捜査上の証拠になる高解像度画像、映像記録など、様々な利益を得ることができる。記録した画像や映像は、研修などの目的で再利用することができる。

ロス低減化施策

POSシステムは今も昔も窃盗犯の対象だが、レジの現金が狙われるだけの時代は終わった。現在では小売業者は大口割引を求める、棚にある商品を全て奪う、クレジットカードのデータを盗むなどの巧妙な手口の窃盗犯ネットワークに狙われている。薬局やドラッグストアを狙う窃盗犯は、マネーロンダリングやメタンフェタミンの生成を目的として薬物を探している。さらに、インターネットの登場で、POSや電子決済POSがサイバ窃盗団にハッカー攻撃されるという脅威に常にさらされている。

こうした状況に対応するため、小売業のセキュリティはハイテク化する必要がある。IPベースの映像監視ソリューションを導入することで、POS、万引防止システム、RFID、映像解析、就業時間・勤怠管理、入退管理、その他のデータシステムと容易にシームレスに統合し、映像能力を最大限に引き出すことができ、セキュリティを一歩前進させることができる。例えば、

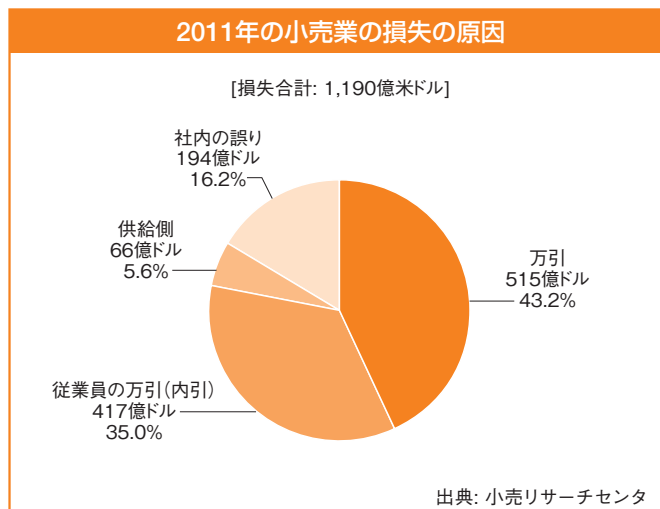


アデムコ・ファームイスト社営業&マーケティング部門担当取締役バトリック・リム氏



アクシス・コミュニケーションズ社小売事業開発担当取締役ヨハン・アケゾン氏

損失の原因



万引防止システムと統合すると、高品質の映像録画が可能になり、万引防止効果を高めることができる。また、POSシステムと統合すると、よくある間違いを迅速に検出することができる。このようなシステムでは、例えば、レジのトレイが開くたびに録画を開始し日時を記録することができるため、管理職や経営幹部は、金銭があるべき場所から持ち出されていないことを確認することができる。

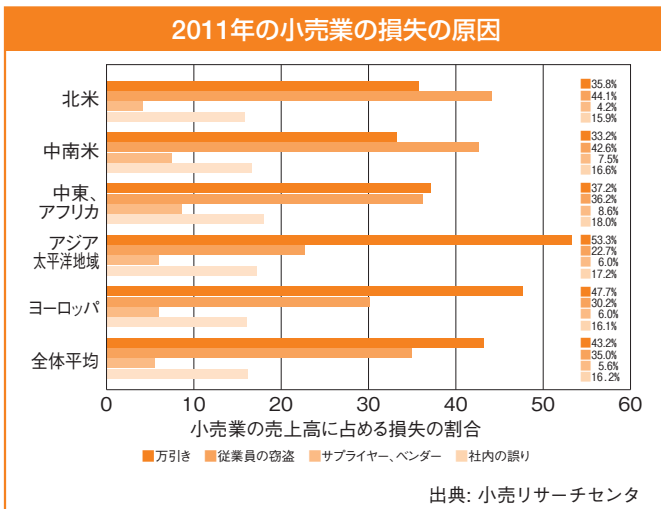
欧州やアジア太平洋地域に比べ、米国での小売業の窃盗は、大部分が従業員によるものだ。単一店舗の場合でも店舗が複数ある場合でも、POSの異常の統計を利用することにより、許可なく手動で入力した値、返品処理誤り、故意を含む現金の払い戻しやクーポンの誤りなど、疑わしい形態や行動を容易に検知することができる。

RFIDに関する最新情報

新技術の登場により、革ジャケットの棚全体をチェックするといった画像データを取り込み、処理する既存の技術は出番がなくなり、高価な商品にRFIDタグを取り付け、無線技術でタグを追跡管理する方法が用いられている。監視システムにRFID技術を統合することで、革製のコート棚全体が急に移動するといった事態が発生した場合、直ちにフラグを立て、係員に通知することができる。また、RFIDタグを付けることで、全ての商品に独自のIDが付与されるので、誰かが不正に払い戻しを受けようとした場合に、その商品が盗品であることを識別することができる。

多くの業界で、顧客データの保護やプライバシーの保護への関心が高まっている。この傾向を把握した大手小売業者は、シス

損失の原因



テムの強化に躍起になっている。米国では、商品の棚と顧客データ、プライバシー情報を保管するサーバへの物理的アクセスとネットワークアクセスを保護するための包括的な方針が見られる。アデムコ・セキュリティ・グループ企業のアデムコ・ファーマーイスト社営業&マーケティング部門担当取締役パトリック・リム氏は、「当社のある顧客は、サーバ室だけでなく商品棚も網羅するRFID入退制御システムを導入し、何時誰が何にアクセスしたかがわかる追跡記録報告書を確認できるようにしている」と語る。

業務管理のハイテク化

小売業の管理職と経営幹部は、IPベースの映像監視を導入することで、売り上げとスタッフ稼働効率の向上、顧客の定着率の維持と向上などを実現し、店舗の業績を向上させることのできる新たな道具と機能を手に入れることができる。映像にいつでもどこからでもアクセスし遠隔管理を行うことができるため、ロス防止要員を代表とする権限を付与されたスタッフは、非常に簡単に最大限に柔軟に映像監視を表示、分析、管理することができ、利益の増大という目標を達成することができる。「小売業の管理職と経営幹部は、運営上の要件に基づいて意思決定を行うことが多く、映像内容分析の効率を高める機能を求めている。今では、ほとんどの管理職と経営幹部が映像内容分析ソフトウェアを使用して客数や動線を観察し、そこから得られる情報を利用して、顧客の行動を理解し店舗内配置や設計の有効性を判断している」とリム氏は言う。

映像内容分析を利用して、店舗内配置、看板のデザインと設置の有効性、従業員と顧客の行動分析を行い、売上の向上を実

現することができる。「当社のある顧客は、映像内容分析警報を使用して、客の数が増えたら通知されるようにしている。客数の増加に応じて店員の数を増やし、顧客サービスの水準を維持することができるだけでなく、万引の検知の可能性を高めることができる」とリム氏は語る。

使いやすいユーザ・インタフェースを備えたヒートマップは、小売業の管理で非常に有用で、信頼性の高い道具だ。マーケティング部門は、マップデータを使用して、店舗のどのエリアに最も「人目を惹く」商品を置くべきかを見極めることができる。「当社のヒートマップは、見やすく、分かりやすいユーザ・インタフェースを使用しているため、直感的に理解できる。ホットゾーンは赤で、人の流れの少ないコールドゾーンは青で表示される」とエイジェント・ビデオ・インテリジェンス社CTO(最高技術責任者)ツヴィカ・アシャニ氏は語る。ヒートマップは、店舗における販促キャンペーンの有効性や、商品やキャンペーンに対する顧客の反応を測定する手助けにもなる。

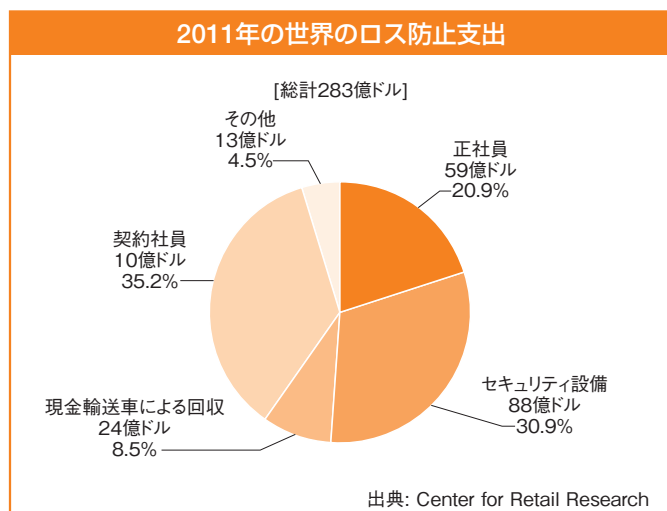
小売業の管理職と経営幹部は、店舗で毎日録画した映像を利用して以下のような措置を行い、業績の向上を図ることができる。

- ・ 入退店する客の数、会計待ちの行列の長さを監視し、店員の増員が必要になった場合に警報を発令させる。
- ・ 棚の商品の補充が必要になった場合に警報を発令させる。
- ・ 店員と顧客のやり取りを監視し、サービスの向上を図り、研修と管理のギャップを見出す。
- ・ 店舗の設計、陳列、看板のデザインと位置、客の多い時間や区域をはじめとする客の動線を検討、改善し、売上の向上を図る。
- ・ 性別、年齢、衣服から判断できる社会的地位などに基づく顧客の統計、顧客の行動を検討し、分析する。
- ・ 研修映像を作成し、新人とベテラン双方の従業員を対象に、接客の効果を高める方法、万引犯に共通して見られる挙動の見抜き方といった各種の研修を行う。

TCO低減を実現するクラウド監視

製品別の内訳を見ると、映像監視の最大の市場は小売業だ。しかし、小売業者は、映像のハードウェアとソフトウェア技術やITに馴染みが薄いのが普通だ。そのため、購入時には、使いやすさと設置の容易さが最も重視される。ABI リサーチ社は、小売業者の技術支出は、2014年には約210億ドルにまで増えると予測している。セキュリティの標準技術の急速な進化と、

2011年のロス防止支出



高効率で使い勝手に優れた技術に対する小売業者の要求がこの伸びを後押ししている。

クラウドコンピューティングは決して新しいものではないが、クラウドコンピューティングを使用する映像監視が新たな技術として登場している。この映像監視手法は、MVaaS (Managed Video as a Service)、VSaaS (Video Surveillance as a Service) とも呼ばれている。特にクラウドコンピューティングは、様々な場所から送信される映像監視を統合する場合に役に立つ。「クラウドベースのサービスはまだ初期段階だが、小売業者にとり、コストを削減でき利便性に優れていることは無視できない非常に魅力的なポイントだ」とリム氏は指摘する。アパレルや高級品店、大型食品チェーン店など、様々な小売業者がクラウドベースのサービスの導入を開始している。「当社は、大規模ファーストフードチェーン店向けに、クラウドベースの就業時間・勤怠管理サービスを提供しようとしている。他の小売業顧客もホスティング映像サービスを導入し、警報と対応の効率の向上を目指している」とリム氏は語る。



エイジェント・ビデオ・インテリジェンス社



エンヴィジョン社
CEO
グレゴリ・ホッジス氏



イベダ・ソリューションズ社
デイビッド・リィ社長兼CEO

クラウドベースの映像監視サービスを利用する場合、小売業者はITを理解する必要はない。DVRやNVR、サーバやストレージ、ソフトウェアを購入したり維持したりする必要もなく、常勤の専任IT要員を雇用する必要もない。これらの初期投資はすべて月額料金に含まれ、実際に使用した分だけ料金を支払えばよい。すぐにコストを低減できるだけでなく、配備やアップグレードも容易で、TCOを抑えることができるため、多くの小売業者がクラウドコンピューティングの導入に踏み切っている。「これまで、こうしたシステムを自ら所有し、運用するしかなかった。多額の投資が必要で、導入には長期間を要した。また、こうしたシステムを管理し、維持するための要員の追加が、諸経費増として大きな負担になる」とリム氏は指摘する。「複数のチェーン店を運営する小売店にとり、クラウドベース・システムは、多数のカメラとレコーダを搭載した大規模な統合型システムを購入するよりも、はるかに軽い資産負担で運用することができる」とソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域ビジュアルセキュリティソリューション担当シニアマネージャのアレックス・イダ氏は話す。つまり、システムが網羅する範囲が広いほど、クラウドコンピューティングを選択することで費用対効果が高くなる。イベダ・ソリューションズ社デイビッド・リィ社長兼CEOは、「ハードウェア、ソフトウェアの保守点検、現在使用している機能、サポートの課題解決を当社に一任していただければ、顧客は事業運営に集中できる」と指摘する。

小売業では、特に複数店舗の統制管理で、帯域幅の制限が厳しいケースが多い。クラウドベースの映像監視システムを導入すると、全ユーザが同時にログインした場合でも帯域幅の心配をする必要がなくなり、世界中の複数の場所から、かつてないほど容易に映像にアクセスできるようになる。さらに、次のような利点もある。「クラウドベースの就業時間・勤怠管理システムでは、生体認証システムを組み込むことで、別の人にタイムカードを押してもらおう不正を防止し、既存の勤怠管理システムから手作業を除去し、システムを人事給与システムに容易に統合することができる」とリム氏は言う。クラウドベースの映像監視システムは、規模の大小、単一店舗、複数店舗の別を問わず、全体効率、使いやすさ、コスト削減の点で、小売業者に好影響をもたらす。

クラウドベースの就業時間・勤怠管理システムでは、生体認証システムを組み込むことで、別の人にタイムカードを押してもらおう不正を防止し、既存の勤怠管理システムから手作業を除去し、システムを人事給与システムに容易に統合することができる」とリム氏は言う。クラウドベースの映像監視システムは、規模の大小、単一店舗、複数店舗の別を問わず、全体効率、使いやすさ、コスト削減の点で、小売業者に好影響をもたらす。

a&s海外雑誌 年間購読申込書

申込日 20 年 月 日

<input type="checkbox"/>	a&s INTERNATIONAL	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s ASIA	(隔月刊)	6,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s CHINA(簡体字)	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s INSTALLER(簡体字)	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s SOLUTION(簡体字)	(3の月季刊)	4,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s TAIWAN(繁体字)	(隔月刊)	6,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s TURKEY	(隔月刊)	6,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s ADRIA	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s ITALY	(隔月刊)	6,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s INDIA	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s VIETNAM	(3の月季刊)	4,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読

送 付 先	住所1:	
	住所2:	
	貴社名:	
	部署名:	
	電話:	FAX:
	役職名:	
	ご氏名:	
	E-MAIL:	

振 込 先	ゆうちょ銀行からの振込の場合 口座記号: 10180 口座番号: 3723281 口座名: エーエスジャー (ド) ※ATM表記は、「エーエスジャー (ド)」となります。
	他の金融機関からの振込の場合 ゆうちょ銀行 店名: 〇一八 (読み ゼロイチハチ) 普通預金 口座番号: 0372328 ASJ 合同会社 (エーエスジャー ゴウドウガイシャ) ※ATM表記は、「エーエスジャー (ド)」となります。
	※振込手数料は、貴社にてご負担いただきますようお願い申し上げます。
	※発送は、入金確認とさせていただきます。
	※送付先は、日本国内に限定させていただきます。

FAX番号 03-6206-0452

ASJ社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10F 電話 03-6206-0448

VIVOTEK がカナダのアボリジニ文化とヘリテージセンターを保全

背景

カナダは世界でも最も多文化で多様性のある国の1つです。1971年カナダは世界で初めて、人種や種族的出身、言語、信仰宗教に関わらず、あらゆるカナダ人の価値と尊厳を確約する多文化主義を公式政策として採用しました。カナダ人口の大多数は旧世界の移民とその子孫で構成されており、その中に含まれるアボリジニ(先住民)は、カナダで最も急速に人口が増加している一群です。アボリジニ人口がカナダの他地域に比べ少ないノバスコシア州では、コミュニティが先住民の歴史を保全する必要性が差し迫っています。Glooscap Heritage Centre & Mi'kmaw Museum(GHC&MM ; Glooscap ヘリテージセンター & Mi'kmaw 美術館)は、ノバスコシア州の先住民グループ、Mi'kmaq の文化とアイデンティティを守るヘリテージセンターです。

このセンターは、展示品が展示された 9000 平方フィートのマルチメディアシアター、美術館、ギフトショップと、会議や特別イベントの開催に使用される 4,700 平方フィートの別館から構成されています。この施設はたくさんの訪問客やボランティア、顧客によって共有されています。この場所はイベントやフェスティバル、その他特別な催しがあるとき、特に混雑します。施設内のあらゆる人々の安全は、運営の優先事項です。2011年4月、センターは資産を保護し、施設全体の通行を監視するために、監視システムの導入を決定しました。そのとき、VIVOTEK の包括的な優れた設計を誇る製品の 1 つである FD8133 が運営部のメンバーによって選ばれました。

ソリューション

VIVOTEK FD8133 は小型の固定式ドーム型カメラで、屋内監視向けに設計されています。エレガントでスタイリッシュなハウジングと柔軟な据付設計により、内部装飾とレイアウトにデバイスをうまく溶け込ませることができます。このプロジェクトで、カメラは主に展示室内に取り付けられ、人々の通行を監視します。また、別館入口やギフトショップ内にも設置されています。

1メガピクセルセンサーを搭載、30 fps で1280×800 の表示解像度を実現した VIVOTEK FD8133 は、高画質・高解像度の画像を提供します。業界標準の H.264 圧縮技術サポートにより、映像転送に必要なネットワーク帯域幅も簡単節約できます。より多くの帯域幅を節約できることで、より費用対効果の高いソリューションとなります。さらなる費用対効果を実現するため、VIVOTEK FD8133 はオンボードストレージ用ビルトイン MicroSD/SDHC カードスロットが設計されています。このため、デバイスはカメラそのもので独立した録画が可能です。この独立型の傑作は、屋内監視の多様な要件を満たす真のオールインワン型監視ソリューションです。

製品パッケージに含まれる VIVOTEK 独自の 32 チャンネル録画ソフトウェア、VIVOTEK ST7501 ソフトウェアを使い、管理者は施設内に設置されたすべてのカメラの完全な視野が得られます。カメラに実装されたすべての互換ビデオ規格、H.264、MPEG-4、MJPEG がビデオストリームの個別設定と転送を可能にし、多様な用途での異なる要件や制限に対応することができます。このため、ユーザーは視聴側の必要に応じて、異なるプラットフォームでの監視に複数のストリームをそれぞれ異なる解像度、フレームレート、画質で同時に受信することができます。

お客様のフィードバック

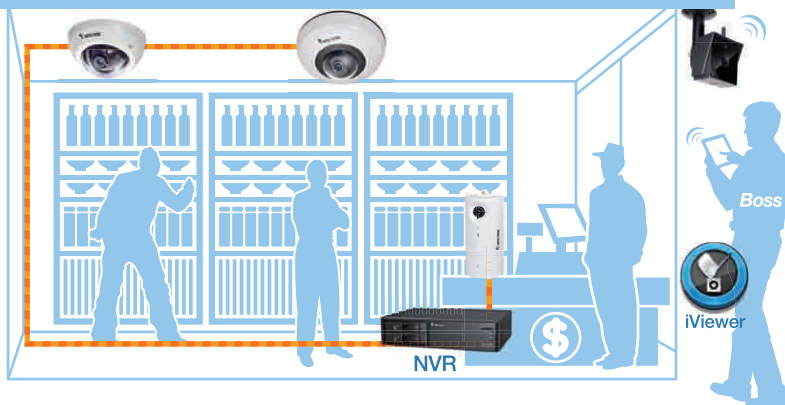
VIVOTEK FD8133 は、価格、性能、外観の総合的な魅力により選ばれました。「VIVOTEK のカメラにとっても満足しています」と Sharon Touchie ゼネラルマネージャは語ります。「施設全体に配した高解像度ビデオの設置は、Mi'kmaw 文化の豊かさを知るために訪れる訪問客に、安全性とセキュリティを提供する大きな力となっています」。



180°
サラウンドビュー

ビジネスを高い信頼性で保護
店舗向けのベストソリューション

マーケット



- PoE または WiFi
- コンパクトサイズ
- 簡単なインストール

VIVOTEK は、小売業界のニーズに合わせてカスタマイズされたメガピクセルカメラのシリーズを発表しています。小型でエレガントなデザインに加え、取り付けも簡単なこれらのカメラを設置することで、世界一流の監視システムを容易にセットアップできます。店舗オーナーは VIVOTEK iViewer アプリを利用して iOS および Android 携帯端末からビジネスを遠隔監視できます。

利便性と簡易性でMVaaSを選択

今でも、VSaaS(Video Surveillance as a Service : ホスティング映像)は安全性が十分でないと考えているならば、考え直すべきだ。特に、同業他社に対する競争力を維持したいならば、ホスティング映像を再評価する時だ。規模の大小や店舗数に関係なく、多くの小売業者がVSaaSにとどまらず、MVaaS (Managed Video Surveillance as a Service) の世界に足を踏み入れている。ここでは、クラウド監視とも呼ばれるMVaaSが小売業者にもたらす利点を解説する。

MVaaSは、将来有望な、新しい市場分野である。MVaaSでは、アナログカメラからIPカメラまでを含む分散映像システム、一元化された映像システムの両方がデスクトップ機器や携帯機器で利用できるようになり、ビジネスシステムに統合することができる。MVaaSを利用すれば、導入の複雑さや既存の映像設備のサポートの継続などに悩まされずに、一括提供サービスを簡単に利用することができる。小売業など、強力なITチームを持たない業種には恰好のサービスと言える。物理的セキュリティ業界の専門家たちは、クラウドがもたらす大幅なコスト削減効果と運用効率の高さから、この新たな「クラウドブーム」が急速に普及すると期待している。

料金が手頃で、個人宅から大企業に至るまで、誰でも使えるのがクラウド監視の長所だ。ホーム監視サービスのテレビコマーシャルは、クラウド監視は住宅用途に限られるという誤った情報を視聴者に伝えている懸念があるが、これは全く事実

反する。実際には、クラウド監視は複数の事業所を所有し、全店舗を同時に監視する必要のあるユーザにこそ最高のソリューションだ。セキュリティ目的だけでなく、商品は適切に陳列されているか、時節に合った飾り付けになっているか、時間通りに配達されているかなどを遠隔から確認し、効率的な運用と販売を行いたいフランチャイズ店にとって、クラウド監視は価値あるサービスになる。もちろん、前掲の記事で紹介したように、ビジネス内容分析に基づくビジネス情報化アプリケーションも多数存在する。

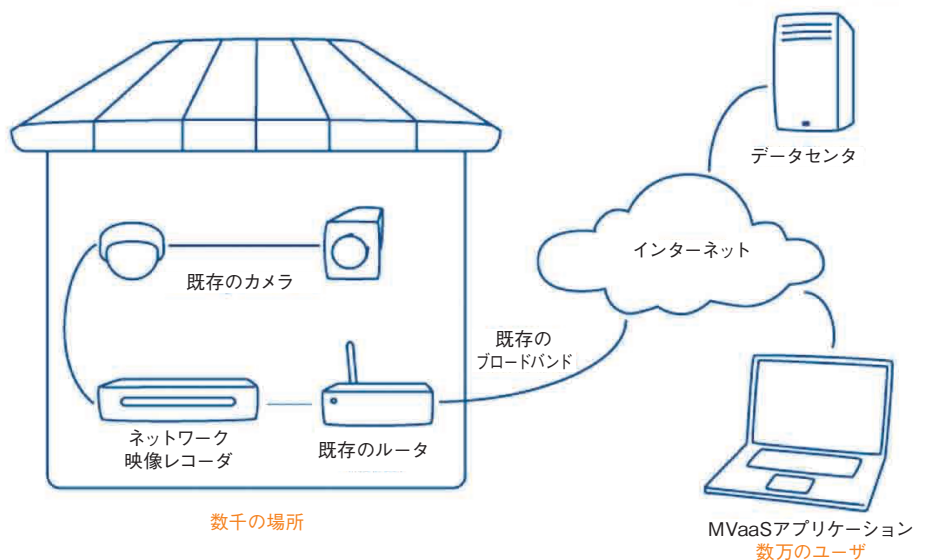
世界中でロス防止に費やされた費用は、283億米国ドルにのぼる。その30.9%にあたる88億ドルがセキュリティ設備に費やされた。つまり、MVaaSやVSaaSの潜在市場は極めて大きい。サービスプロバイダの多くが、カメラや他のハードウェアのコストを毎月の料金で回収する料金プランを用意しているため、初期投資額は、設備を購入し維持するよりも極めて少ない

が、ゼロになる場合もある。クラウドベースのソリューションは、低コスト、低リスク、低いTCO、高い投資収益率という利点があるため、予算が心配でスマートな映像監視の導入を見合わせたエンドユーザの多くが、クラウドという時流に乗ることができる。

導入事例

クラウド監視の利用に成功した大規模薬局チェーン

あるメキシコの小売薬局チェーンでは、クラウド監視を利用して、セキュリティを



出典: Envysion



▲ 薬局の店長は、インターネット接続を用意するだけで、クラウドから実況映像と録画映像にアクセスすることができる。

強化するだけでなく、経営効率を高めている。メキシコを本拠とし、国境を超えて薬の小売を展開するこのディスカウント・ドラッグストア・チェーンは、安価な医薬品、医師による相談、検査室サービスなどを提供している。同チェーンは、会社をさらに発展させる必要に迫られており、セキュリティレベルの向上を目指している。

同チェーンが経験してきた一般的なセキュリティ問題の一つが、武装窃盗団による強奪である。従業員がトイレに行ったり、商品の補充のために裏手に回ったりした時に不意を突かれ、窃盗団が易々と店内に侵入し、商品や現金を奪うといった事件がしばしば発生していた。

ソリューション

まず4,000以上の店舗から10店舗を選び、配備が行われた。各店舗には、固定カメラ1台とパン/チルト/ズーム・カメラ1台を設置し、イベダ・ソリューション社のクラウドサービスを使用してホスティングが行われた。レジ回りと奥の倉庫には監視カメラを設置した。店長は、インターネット接続を用意するだけで、映像にアクセスし、クラウドから実況映像と録画映像に安全に遠隔アクセスできる。同時に、本社では、イベダ・ソリューション社が提供するオンライン・マッピングサービスを使用して、全ての店舗のカメラにアクセスすることができる。単一のユーザ名とパスワードを使用してアクセスできるこのオンライン・マッピングサービスでは、Google Mapや他のサードパー

ティのマッピング・プラットフォーム上に映像監視カメラの位置を表示することができる。録画映像を使用して、店舗で発生した武装窃盗犯罪や万引の事後調査と識別を行うことができる。このようなセキュリティの完備が評判になれば、犯罪事件の撲滅や低減につながる。

メリット

このチェーンでは従業員と資産を守るだけでなく、映像を活用して販売促進と調査を行うことを計画している。録画映像を管理し、店内の販促展示と客の反応を観察する。同チェーンが確認したいのは、客の販促展示への反応、客がそれぞれの展示を見る時間、客は並んで待っている間に何をしているか、客は何を見ているかだ。同チェーンは、このソリューションを使用して、各店舗における運営、従業員の行動と売上高の関係を調べようとしている。また、各店舗の棚をチェックして商品の補充を速めることを目指している。

クラウド監視で大成功したレストラン

米国第2位の規模を誇るメキシコ料理店チポトル社のメキシカン・グリルは、店舗数1,350軒超、従業員数3万人超に対して、ロス止担当グループの構成員数はわずか5人。しかも驚くべきことに、平均利益率は業界最高水準の26%だ。

同社の安全・セキュリティ&危機管理担当取締役ティム・スポング氏が調査したところ、レストランに設置された映像カ

セットレコーダは監視目的としては役に立たず、全く使用されていないことが多かった。また、デジタル映像レコーダも設置されているものの、POSデータと連動していないため、あまり使用されていなかった。さらに、デジタル映像レコーダのデータへのインターネット経由のアクセスは困難な上に低速で、システムへのアクセスを許可されているのはITスタッフ2名だけという事実が判明した。同レストランの監視システムは、基本的に誰かが滑って転倒した時や盗難が発生した時に備えたもので、アクセスが極めて困難だったことから、それ以外の目的では使用されていなかった。

ソリューション

2007年に同社は、エンヴィジョン社の拡張性に優れた一元管理型で帯域幅対応型MVaaSソリューションを全店舗に配備し、全社数百人のユーザに映像へのアクセスを許可し、入退管理できるようにした。このソリューションの導入以来、1,300人を超える社内ユーザが32万5,000回以上のログインを行った。このように全社から映像にアクセスできるようにしてから間もなく、チポトゥル社はエンヴィジョン社と協力して、POSデータをこのソリューションに統合し、カスタム設定した異常の発生を報告するシステムを構築し、映像価値をさらに高めた。

利点

チポトゥル社の一括提供映像は現在、日々の業務の管理とレストランの収益維持に不可欠な存在になっている。同社は、



▲ 現在、チポトゥル社の一括提供映像は、日々の業務管理とレストランの収益の維持に不可欠な存在になっている。

このソリューションを自社のオンライン監査プログラムに統合し、レストランでの窃盗防止、識別、撲滅に活用している。現在、わずか数分で、1,350店舗全てに報告書を回送し、3万人の従業員全員について異常をチェックし、10~15の問題のある取引を映像で検証することができるため、セキュリティ担当グループの効率と効果が大幅に向上した。

チポトゥル社ロス防止担当グループは、エンヴィジョン社の報告機能を使用して、リスクの高い取引にフラグを立て、監査効率と効果を高めている。例えば、チポトゥル社では、専用報告機能を使用して、小額の現金取引、無効、払い戻し、割引、売上なし、無料招待客などが大量発生していないかを確認している。エンヴィジョン社の報告機能は、一定時間内に、予め設定した閾値を超える異常、すなわち通常業務の過程でこのような取引を予想以上に多く行っている従業員を、関連する映像を

MVaaSを活用する中南米の小売業界

経済の拡大と暴力の増加が顕著な中南米地域では、公衆の安全を向上させる上で、映像監視が極めて重要な役割を果たす。中南米の人口密集地帯では激しい交通渋滞が発生し、人々の生産性の低下に繋がっている。あらゆるサービスで、一括提供クラウドサービスを利用することで、官民両部門で業務効率を改善することができる。映像監視ソリューションは、一括提供クラウドサービスを利用することで、より容易に、より安価に導入することができる。

メキシコシティのモンテレイとグアダハラといった大都

市間を行き来する際、ある場所から別の場所へ移動するだけで何時間もかかることがある。メキシコ国内の多くの場所が重度の交通渋滞に悩まされていることから、クラウドベースの映像監視は企業にとり極めて魅力的な存在だ。一元的に管理できる映像サービスを利用することで、各社は、セキュリティの強化だけでなく、経営効率の向上も図ることができると期待している。経済の拡大に伴い、公衆安全の意識が高まり、インターネットの利用も増大しているため、メキシコの監視市場の将来は、間違いなくクラウド化に向かっている。クラウド監視の業種別市場としては、政府部門、銀行、その他の金融機関、医療部門、教育機関、交通、中小企業、多地点に展開する製造工場、電気通信企業などが上位を占めている。

確認し、各取引を素早く確認することにより自動的に検知する。

チポトゥル社は、ソリューションの導入後に窃盗や内部犯行による売り上げの低下を減少させ、そのレベルを維持しさらに減少させた。また、レストランの業績を向上させるため、映像の新たな活用法を探し続けた。その結果、同社は過去5年間にわたりエンヴィジョン社のソリューションがもたらす利益を享受することができた。

チポトゥル社では、研究開発部門からマーケティングさらには最高経営責任者に至るまで、全社でこのプラットフォームを利用して、レストランで何が起きているかを把握している。

エンヴィジョン社は、ビッグ・ロツツ社、ボーム社、マードックズ社、ナショナル・ストアズ社、ヴェリゾン社、スプリント社、ベル社、AT&T携帯電話サービスディーラ数社と提携し、実用的な情報を提供し、店舗段階の目標や取り組みを推進している。

クラウド監視による複数店舗の管理を実現

米国内に600以上のフランチャイズ店舗を擁する全国チェーン店ジャーシ・マイクズ・サブス社は、新鮮な素材をスライスして挟んだ米国北東部方式の正真正銘のオーダーメイド・サブマリン・サンドイッチを売りものにしていく。

クリス・ジョンソン氏は、副業として南カリフォルニアのイルモ市にジャーシ・マイクズ・サブス社のフランチャイズ店を2軒オープンし、高品質なサンドイッチを提供することにした。ジョンソン氏は、監視システムを導入して店舗の安全を確保し、頻繁に店舗まで出張しなくても済むようにする必要があった。

ソリューション

ジョンソン氏は、南カリフォルニアのコロンビアに本拠を置き、ITサービスとサポートを提供するアクシス社のパートナー企業A3コミュニケーションズ社に相談した。A3社は、レストランの安全を確保するだけでなく、効率とサービスの質を高め



▲ フランチャイズ加盟店のオーナーのクリス・ジョンソン氏は、店舗に遠隔操作して、サンドイッチが正しい手順で作られているかを定期的にチェックすることができる。

るホスティング映像ソリューションを推奨し、ジョンソン氏の期待を上回る水準の監視システムを提案した。A3社は、手頃な価格のAXISネットワークカメラを店舗に設置し、ホスティング映像プラットフォームに映像をストリーミング伝送することにした。さらに、NAS (Network Attached Storage)装置を店舗に設置し、HDTVの解像度で犯罪科学捜査品質の映像を録画できる冗長記録システムを構築した。

利点

A3 コミュニケーションズ社は、ジャーシ・マイクズ・サブス社のフランチャイズ店舗向けのカスタム設定を作成した。この設定では、インターネットに接続次第、ホスティング・プラットフォームに接続するよう設定されたアクシス社製カメラを使用するため、どの店舗でも2時間足らずで設置、始動することができる。ジョンソン氏は、外出中にiPhoneやiPadから簡単に遠隔操作し、複数店舗の運営を監視することができるこのシステムに大いに満足している。また、ジョンソン氏は、映像と音声を有用なトレーニングツールとして頻繁に利用して、顧客サービスの向上を図り、サンドイッチの正しい作り方を指導して効率を高め、鋭い切れ味のデリスライサーを安全に操作するコツを教えている。また、アクシス社製IPカメラの動体と音声検知機能を利用して、閉店後も監視を続けている。



よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル 代表取締役 CEO 佐々木宏至

今回のテーマはネットワークデバイス機器の利用例をいくつか紹介する。

Video Surveillance as a Service (VSaaS)

監視カメラのクラウド利用ニーズの拡大によりVSaaS対応のipカメラが今後増えてくるだろう。現在市販されているipカメラはVSaaSに最適ではない。VPNなどを経由しないと利用できないからである。要するにNATを経由して簡単に接続できないと利用は広がらない。VMSが主体ではなく、カメラが主体的に接続に行く機構が必要だということである。既にAXIS社は新しいファームウェアで対応している。

既設の同軸ケーブルを利用してipカメラをサポートする方法

同軸ケーブルは、アナログ監視カメラで利用されているDVRから見てスター接続の伝送ケーブルである。この伝送ケーブルにip伝送を実現するコンバータを経由することでipカメラを利用することが可能となる。さらにPOEスイッチやPOEインジェクタを経由して電力を供給することもできる。同軸ケーブルとは違い、帯域の許す限りネットワークスイッチを先端に設置して複数のipカメラを接続することも可能だ。この技術はDSL/ADSLを背景としたもので熟成された技術として利用されている。

エンコーダによる既存アナログカメラのip化の方法

主要ipカメラメーカーはエンコーダを提

供しており、チャンネルコストも大幅に低下傾向にある。設置の仕方としてはカメラサイドにエンコーダを設置する場合とVMS/NVR側に設置する場合が想定できる。一般的にはVMS/NVR側に設置して利用することが多いだろう。

エンコーダによる高解像度映像のip化

PCにはD-sub VGA端子、DVI、HDMIなどの映像出力、カメラではHD-SDI仕様のBNC端子が付属している。これらの映像をH.264に変換しip伝送することが可能だ。現在、当社が確認している監視カメラ系のエンコーダとしては5社ほどが実用段階に入っている。用途としてはレーダ映像、医療機器の映像配信が市場として有望だ。当社でも実際の応用例が各種ありVMSで利用している。

スマートフォンの活用

カメラのライブ映像を見るモバイル機器として、最近ではローエンドなDVR/NVRでもサポートされている。また、録画映像に対応した製品も増加している。さらに、ドア制御やプッシュ型アラームに対応した製品により監視用途での利用を促進している。また、スマートフォンをモバイルな監視カメラとして利用できる製品が注目を集めている。遠隔保守点検、巡回警備、災害時の映像配信など市場は大きく拡大していくだろう。

インタフォンやSIP電話との連携

インタフォンは音声だけでなく映像も同時に利用可能な機器は家庭でも普及

している。SIP系のip電話はキャリアを含め当たり前利用されている。これらの機器とVMSの連携により、セキュリティ運用がよりシームレスとなることはユーザに多大な利益をもたらす。

入退管理機器のip化

入退関連機器のip化は増えてきているが、ある程度の規模に要求される可用性の限界により、従来のRS-485方式は減少していない。特にリアルタイム性とip通信障害に対する可用性向上のために、マスタ・コントローラ集約型が中大規模では重要となる。ネットワークから切断されていても、運用性が保証されなければならない。この仕組みはクラウドにもっとも適していると言えるだろう。

DVR/ハイブリッドNVR/NVRのip統合

Intel CPUによるPCベースのVMSソフトウェアのほとんどが、一定以上の機能を所有し高度な運用性を提供しているが、自営運用でのランニングコストに頭を痛めている。シンプルで多機能ではないが、ARM系プロセッサや組み込みLinux、H.264ハードデコーダを搭載したDVR/ハイブリッドNVR/NVRのコストパフォーマンスは向上している。これらをVMSが統合運用することで映像記録の二重化を含め、さらにはプライベートクラウドなどの利用が盛んになるだろう。

今回はMicrosoft AZUREで提供される監視カメラのクラウドを紹介する。



連載コミック 「ドコかめ」参上!



スマートフォンがいつでもどこでも監視カメラになる!
 災害対策や遠隔保守点検、巡回警備と用途は無限大。



Copyright © 2013 Javatel inc.
 無断転載厳禁 ドコかめ®

制作 神田 森莉

Genetec社Security Center mobileでご利用いただけます。
 詳しくは <http://www.javatel.co.jp> で。

アクシスコミュニケーションズAB 創業者兼取締役 マーチン・グレン氏に聞く

アクシスコミュニケーションズ社は久しぶりにSECURITY SHOWに出展したが、本誌はこの機会に来日したアクシスコミュニケーションズAB創業者兼取締役マーチン・グレン氏にインタビューすることができた。



問 今市場で話題になっているAXIS Camera Companion(ACC)に対する世界市場での評価は？

AXIS: ACCに関しては、当初当社が想定していた主な対象先は欧州と米国だった。そして、ACCは、大半がアナログシステムのDVRにより構成される欧米の小規模なシステムに対抗する製品と位置付けていた。そのため、ACCは基本的には1~4台のカメラ構成によるシステムを想定していたが、現在では技術的にカメラ16台までに対応する製品であり、それ以上のカメラ台数に対しては、最適なソリューションとは言えない。

なぜ、目標の第一歩がDVRに取って代わるのかと言うと、4台までの監視カメラ・ソリューションの85~90%がなおアナログだからだ。そして、当社は

これらの小規模システム市場のネットワーク化やIP化を望んでいるからだ。

IP化をもたらすためには、当社のネットワークカメラは、ローコストのアナログカメラに比べて、まだまだ高額だった。当社は、DVRに取って代わることで、ユーザに対して利点が多く、高解像度の画像が提供できるコスト効率の高いソリューションを提供したかったからだ。

問 ACCは欧州と米国が主要対象先だったということだが、日本市場に対しても非常に強いインパクト与えた。特にアナログシステムの施工業者や小規模の4~8チャンネルのNVRベンダにとっては脅威にすら感じていたようだ。また、VMSベンダにとっては、小規模システムはACCが主役となり、8あるいは16台以上のシステムに活路を見出すと考えるようになった。

AXIS: メモリカードの普及に伴い、様々な変化が生じてきている。非常に小規模なシステムでは、システム設置の当初はACCのみを利用することができる。しかし、16台以上のシステムでは、VMSによる録画を補完する形で、エッジ・レコーディングや録画機能搭載のカメラを使用することができる。これにより冗長性を確保し、複数の場所に画像データを保存することが可能となる。万一、不具

合があっても、少なくとも1カ所の画像データにアクセスすることができる。

また、長期的な視点に立ってみれば、最終的にはクラウド・コンピューティングにより、多くのことが可能になるだろう。高解像度でエッジ・レコーディングが可能になり、ホスト型のサービスについては、比較的低い解像度の画像配信が実現するだろう。

問 ACCは、現在16台のカメラに対応しているが、24台あるいは32台までに拡張する計画はあるのか？

AXIS: 前述した通りその考えはない。ACCは、主として4台までのカメラに対応する製品である。当社では、何となく技術的な限界を16台までにしてきたが、これには明確な理由は存在しない。それどころか、当社としては、技術的なパートナー各社のソリューションに期待しているため、16台以上の規模でのACCの使用を望んでいない。

また、AXIS Camera Stationは、カメラ100台まで対応可能としているが、仕様を發揮するには25台程度までが現実的ではないか。

大規模なシステムでは、多数のシステム要件、システム・インテグレーションが要求される。この場合には、当社のソフトウェアではなく、当社のネットワー

クカメラとアクシス社のアプリケーション開発パートナーの大規模システム向けのVMS(映像管理ソフトウェア)を推奨している。

問 これまでのACCの世界市場での出荷実績は？

AXIS : ACCに関しては統計的な数字は把握しにくいのが実情だ。なぜなら、ACCの売上は、ほとんどがグレイマス(主要販売代理店や主要再販売業者ではなく、より小規模の業者)によるものだからだ。唯一把握できる方法はACCのダウンロード数だが、この数字が非常に多いことは把握している。

問 貴社の製品ラインナップについて、全方位型ネットワークカメラAXIS M3007-P/-PVを開発した理由？

IMSリサーチ社の予測では、2015年の360度カメラ市場はネットワークカメラ市場全体の数%に過ぎないと指摘されている。

AXIS : ご存知のように、当社はネットワークカメラ業界の世界的な先導企業である。毎年、当社は30~50の新製品を送り出している。通常の製品のライフサイクルは、わずか3年程度である。ということは、当社製カメラのラインナップは、100機種以上になるということだ。

360度カメラについても、その他の機種と同様に明確な市場を想定している。SECURITY SHOWをはじめ日本の大規模な展示会でも、360度カメラが潮流になっていることがお分かりいただけるだろう。そして、当社も360度カメラ市場に参入することを決定した。なぜならば、このカメラにより、周囲の外観を一望することが可能になるからだ。さらに、人物の識別はできなくても、人々の動線や人々が現在どこに位置しているかを知ることができるからだ。数多くの360度カ

メラを展示会で目にするということは、このカメラの市場がIMSの調査結果よりもおそらく規模が大きくなることを示唆しているのではない。

問 パートカメラのP12シリーズ、P85シリーズは、貴社の既存のラインナップとは異なった製品群になる。この製品ラインは今後もリリースしていく方針か？

AXIS : 当社は、昨年度、約6億5千万ドルの売上があったが、その15%を研究開発に費やしている。すなわち約1億ドルに相当する。この金額は、当社と競合する多く企業の収益を大きく上回っている。P12シリーズとP85シリーズは、新しいコンセプトから生まれた製品であり、このシリーズのアプリケーションも数多く開発されている。現在、アナログカメラが使用されている場所で、より高い画像品質が求められている場合、例えばATMなどに最適だ。当社は今後も広い範囲で新機種のカメラを開発していく。

問 クラウド・コンピューティングについては、既に有力なVMSベンダが先行し、積極的な展開を進めているが、貴社はどのように取り組むのか？

AXIS : 当社は、既にAVHS (AXIS Video Hosting System)を7年前に発表し、他社に先行している。当初は北米と欧州向けに発表したが、今後アジア各国にも導入を推進する予定だ。

日本市場は、ビデオ・ホスティングを本格導入する準備が整っていると思っている。当社のパートナー企業には、エンドユーザにサービスを提供するストレージ・ベンダ、ビデオサービス・プロバイダなどが既に存在する。このサービスのエンドユーザは、小売業者やスモールビジネスになるだろう。

問 貴社が、クラウド・コンピューティングシステムに取り組む場合、他社との提携なのか自社開発なのか、それともまったく別の方策を選択するのか？

AXIS : クラウドに関しては、二本立てで考えている。一つはもちろんAVHSで、もう一つはVMSベンダにもAVHSを利用していただくシステムだ。そのポイントは、ファイアウォールを超えて、録画サーバ上のVMSに接続する仕組みを利用することが可能であることだ。

問 クラウド・ソリューションの実現のためには、映像監視システムの構築企業とは別に、ITネットワーク専門企業との連携が必要になる。このような連携について、世界市場でどのように対処するのか？

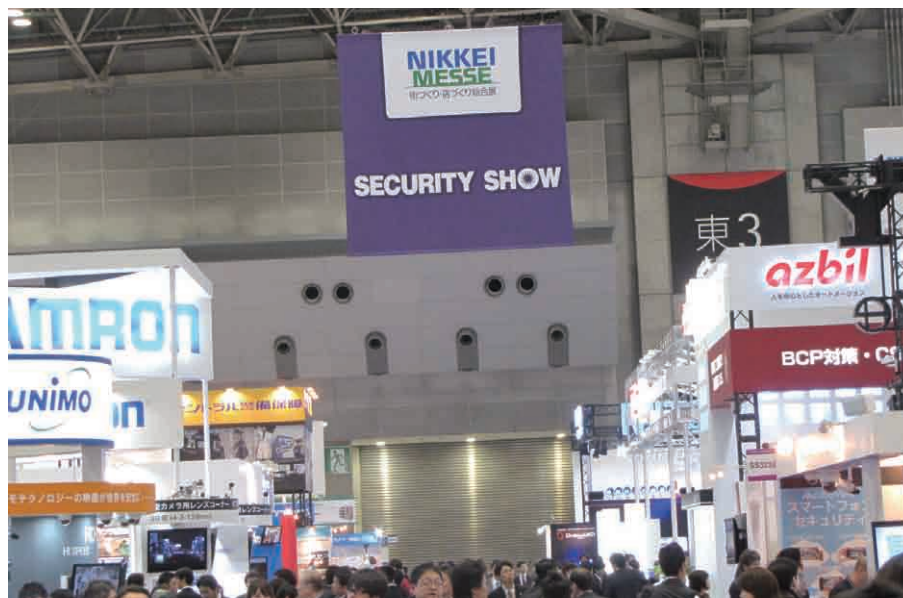
AXIS : 当社が、米国と欧州でビデオ・ホスティングを扱い始めた時、ストレージとクラウド・ストレージに関しては、EMCとのパートナーシップを組んだ。ネットワークカメラは、膨大なデータを生成する。当社の理念は、録画については高画質のエッジ・レコーディングを行い、ホスティングには低解像度の画像を提供するというものだ。

当社は、単独でこのようなビデオ・ホスティング・サービスを行うのではなく、例えば日本では全国を網羅するインテグレート企業が必要と考えている。そうすることで、ACC (AXIS Camera Companion)とAVHSを組み合わせ、効率的な監視ソリューションを構築することも可能となる。現在、様々な企業との連携を模索しているところだ。

AKS

SECURITY SHOW 2013 リポート

一層顕著になった来場者主体のセキュリティ・イベントとしての位置づけ



物理セキュリティの重要性は世界規模でますます高まってきている。そのため、ほぼ毎月、世界各地でセキュリティ関連イベントが開催されている。その大半は、出展社側となる供給側とセキュリティ・ソリューションをユーザに提供する運営側との商談会の形態が主流である。本稿では、2013年3月5日から8日まで開催されたSECURITY SHOW2013の詳細を、主催者側発表のデータを加えてレポートする。

【SECURITY SHOW、2つの特長】

今年で21回目となったSECURITY SHOWは、供給側と需要側であるユーザや見込客との交流場所でもあることが、他の海外展示会にはない際立った特長となっている。ユーザや見込客などの需要側は、専門的な知識や情報を限られ

た範囲でしか持ち得ていないが、その動向を見ることは、日本市場の今後の需要を予測することに繋がる。

また、セキュリティと密接な関係にある新技術や新分野が、SECURITY SHOWから独立した展示会となったリテールテックJAPANやNFC & Smart WORLDが、母体だったSECURITY SHOWとの連動を高めていることがもう1つの特長だ。この3つの展示会を色調で表現すると、それぞれの展示会の中核となる製品やサービスでは独自色が鮮明で、相互に関わりのある隣接製品では各展示会の持つ色によるグラデーションで結んでいると言える。3つの展示会は東京ビックサイト東館3から6までの展示ホール全部を使用しているため、3つの展示会を1回の来場登録で見ることができる。なお、今回の来場者総数は149,923人だった。

【市場の将来を象徴】

■高解像度化

まず、出展社側に関する具体的な数字で紹介すると、191の出展社数は前年の169社から大きく増加した。また出展小間数も前年の501から539と確実に増加した。これを1社あたりの単純平均小間数で見ると、今年は3.33で、前年の3.56よりも若干減少している。この数値は、2小間までの出展社数112社が135社と増加していることを示している。

そして、その背景にあるのは、新技術を搭載した製品で参入を供給する企業が、積極的に事業展開していることである。とりわけ、ハイビジョンやフルハイビジョンと呼ばれているHDやフルHD映像への注目と期待が集まっていることがその要因と言える。具体的な製品ではメガピクセルカメラやHD-SDIカメラがこれにあたる。

■ネットワーク化

さらに、もう一つ挙げることができるのが、IPやLANといったネットワーク化を全面に出していたことである。カメラと録画装置を接続して映像を取得する一般的な方式はスタンドアロンと呼ばれているが、様々な用途で使用されることが急増している映像活用では、遠隔監視とそのネットワーク化が不可欠であることを示していると言えよう。

【来場者の意識に変化あり】

SECURITY SHOWの出展企業はこれまで、専門用語を多く使い優れた技術や

製品を説明する傾向が強かった。これではセキュリティ産業従事者であっても理解しきれない場合もあり、来場者が理解することが容易でなかった。

しかし、今回はその傾向に変化が見られ、導入側の抱えている問題や課題を解決することができるような表示が非常に目についた。その効果なのか、出展各社のブースでは、来場者がそれぞれの抱えている問題や課題を提示し、それに対して説明員が分かりやすくソリューションを紹介するという光景が頻繁に見ることができた。

その背景には、テレビや新聞などのマスメディアで監視カメラの役割や導入事例と導入効果が多量に報道されていることで、需要側である来場者が基本的な理解を持ち始めたことがある。また、肖像権やプライバシーへの懸念から必要悪とすら捉えていた監視システムに対する考え方も変化が出てきたこともある。

【来場者の属性と行動】

■需要側の比率増加

今回の来場者のうち、セキュリティ製品やサービスを導入・利用すると回答した需要側の比率が、前年の39.2%から61.8%に拡大した。これは前述のSECURITY SHOWの特長が一層明白になっていることの証左となる。そして、既に日本では需要側がセキュリティや安全管理に関する課題に積極的に取り組み始めたことを象徴しているかのようだ。

■目的をもった情報収集

また、来場者の展示会場滞在時間とブース訪問数のデータから、59.8%の来場者が2~4時間の時間内で62.2%の来場者が20社以内のブースを訪問していることが見える。

そして、セキュリティ導入先となる場

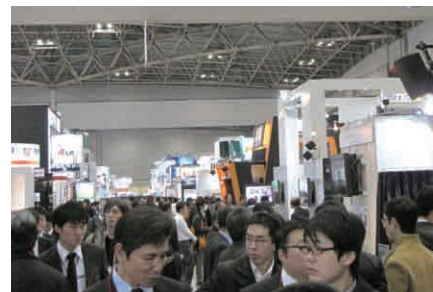
所は、オフィス28.9%、ビル21.9%、工場19.0%、店舗・商業施設18.4%だった。

このように今回の来場者は必要な情報をじっくりと収集していたことが窺える。

【大盛況のHD市場パネルディスカッション】

そして、特筆すべきこととして、パネルディスカッション「2013年の監視カメラ市場を占う～HD市場と技術の最新動向～」の盛況さがある。このセッションは、パネリストとしてネットワークカメラの世界的企業のアクシスコミュニケーションズ奥本昇功氏、様々な最新製品と技術を提供しているソニービジネスソリューション野村幸司氏、HD-SDI製品を積極的に市場に紹介している店舗プランニング鈴木勝利氏の3名と、コーディネータのビデオテクニカ住谷健氏の4名が80分にわたり、各製品の立場から導入メリットを展開した。

セミナー会場は用意した座席はもちろん、通路にも会場外後方にも聴講者100名以上が参集していたことで、HD製品に対する関心が高いことをはっきりと示していた。



【次回への提案】

このように、SECURITY SHOW2013は質的に高い水準を維持しながら開催することができたが、今後取り組むべきと思われる課題を挙げる。それは、各展示会を製品やサービスでブロックに分類し、できるだけ効率良く各ブースを訪問することができるようにすることだ。さらに、隣接する展示会のブロック同士においても関連性のある製品やサービスをシームレスに触れることができれば、来場者はより充実した展示会視察を実現することができるのではないだろうか。

この配置方式は海外の展示会で採用されている事例もあり、出展社からも来場者からも好評を博しているため、SECURITY SHOWでも同方式を導入することに大きな障害は発生しないだろう。それよりも来場者の便宜を図ることの方が効果大ではないだろうか。

【まとめ】

このように、日本のセキュリティ市場の将来にわたり確実な展開が期待できると確信したSECURITY SHOW2013だった。

なお、次回は2014年3月4日から7日までの4日間の日程で東京ビックサイトにおいて第22回「SECURITY SHOW 2014」開催の予定となっている。



ECURITY SHOW2013で 注目を集めた出展社

サンシステムサプライ

「超簡単!」のキャッチフレーズを大きく掲げたブースでは、IPカメラ上で動作するVMS(映像管理ソフトウェア) exacqVision Edgeを中心に展示していた。

exacqVision Edgelは、従来のNVR、DVRが一切不要で、カメラだけで録画システムを構築可能なVMSで、録画データはカメラに実装するSDカードに保存する。SDHC、SDXC対応で最大128GBストレージへの保存が可能なほか、短期利用や設置環境の難しい場所での録画に最適な無線ソリューションにも対応。しかも、カメラとPCとの接続という簡単なインストールで、用意する機器も、表示用PCとサポートカメラとSDカードだけで済む。



ネットカムシステムズ

マルチベンダ対応VMSであるKxViewPro32は、パナソニックやソニー、キャノンやアクシス、アリコントビジョンやMOBOTIXなどのネットワークカメラ、またエンコーダを介したアナログカメラも取り込むことができる。最大32台同時録画と320台登録が可能で、点在する拠点のカメラを遠隔制御し、機能的で直感的な操作が可能な画面構成となっている。

さらに、ナンプレート認識ソフトウェアの「ナンバーアイ」や複数のネットワークカメラを複数拠点に中継するアプリケーション・ソフトウェア「Net Cam Gate」、仮想センサー「バーチャルセンサー」も展示して、来場者の興味を惹いていた。



R.O.D

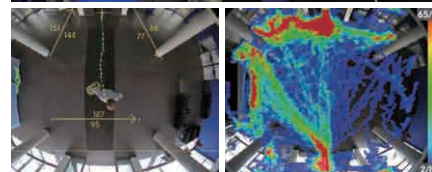
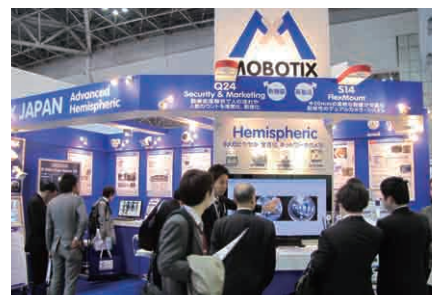
多くのエンドユーザに選ばれているネットワーク・ビデオ・レコーダ「VioStor」シリーズの製品に加えて、次世代IPネットワーク監視ソリューションVioStor-Pro+を大々的に展示していた。現在の監視カメラシステムでは、高画質な映像を長期間保存することが求められている。しかし、映像が良くなればなるほどモニタリングや再生の際に機器に大きな負荷がかかることが課題の一つである。



VioStorシリーズの最新モデルVioStor-Pro+は、そうした従来の課題を解決し、エンドユーザに快適な監視環境を提供することができる。

MOBOTIX JAPAN

全方位映像技術の先駆者である同社は、Q24、S14、M24-HAMIを中心に展示していた。Q24は天井に設置すると360度、壁に設置すると180度の範囲を網羅する監視カメラで、標準搭載の人数カウントと動線密度解析といった画像解析機能によるソリューションを提案していた。



S14は2つのレンズ付センサモジュールと本体基盤が分離した2眼カメラで、フレキシブルで目立たない設置ができる。2眼の360度全方位映像で、ダイナイトカメラ仕様も可能。

M24-HEMIは、屋外ハウジングケース付IP66対応の180度パノラマ映像カメラで、スタンドアロン録画用MicroSDスロットを搭載し-30℃~+60℃の環境下でそのまま設置使用が可能。

ユニバーサルコンピュータ研究所

録画データ保管システム「メディアライタ」は、監視カメラの録画装置から映像データを自動的に取り出し、CD/DVD/BDメディアに書き込む。メディア表面には映像カメラ情報、日時情報、監視画像イメージが自動印刷でき、証拠映像提出や長期保管に最適なシステム。



高機能外周警備システム「SOLPAK3」は、改正 SOLAS 条約発効に対応した侵入者自動検知装置を実現するシステム。港湾以外の一般的な外周警備にも適している。既に港湾や空港を含め全国51サイトで約10年間の豊富な運用実績を誇る。



フリーシステムズ

小型ハンディタイプの監視用カメラHシリーズから中距離監視のPTシリーズそして遠距離監視用の高性能赤外線カメラPTZまで、幅広いラインの監視用赤外線カメラを展示していた。



アクシスコミュニケーションズ

同社は、130を超えるネットワーク映像製品群の中から、未発表製品を含む最新ネットワークカメラ製品を紹介していた。また、小売店舗、商業施設、銀行ATMをはじめとするインテリジェント映像監視の業種別事例を提案していた。



店舗プランニング

WEBGATE社およびCNB社製品でHD-CCTV市場を牽引する同社は、その他にアナログカメラとIPカメラの各システムを展示して、総合システム構築を提案していた。各システム、カメラ・録画装置・周辺機器を充実した商品ラインアップで紹介して、各システムを体感できる展示内容だった。



フィットデザインシステム

なりすましを許さず、個人を特定する指静脈認証技術を利用した「入退室管理システム」および「鍵管理ボックス」など各種ソリューションを紹介していた。指静脈認証技術が今後様々な分野で利用できるとや、特に情報漏洩、コンプライアンス対策の一環としての活用を提案していた。



GENETEC

同社のIPビデオ監視、入退室管理、車番認識のシステムを完全融合させた、革新的な統合セキュリティ・プラットフォームであるSecurity Centerと、スマートフォン動画カメラ映像を取り込み可能なGSC Mobile、直感的なマップ機能を搭載したPlan Managerを展示していた。

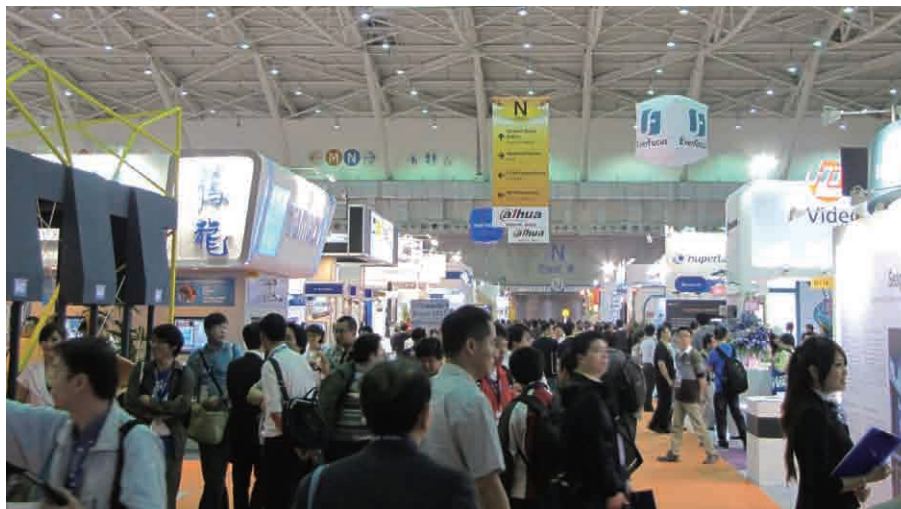


KBデバイス

災害時には独立電力源としても利用可能な太陽光電源「SBP-3600A」、通学通勤路・商店街など公共エリアに最適な街頭防犯カメラシステム「GAR-24BS/GDR-24BS」、スマホ対応のDVR「SHR-6XXシリーズ」など、アナログからHD-SDIそしてIPシステムまでを複合的に展示していた。



世界の経済状況を反映し進化した SECUTECH2013



今年で16回目を迎えたSECUTECH 2013は、4月24日から26日までの3日間にわたり、台北市南港国際展覽館で開催された。これまで、何回もの世界経済の変動を受けながら回数を重ねてきた本展示会が、これまでになく新たな内容の展開となった。

具体的には、今回まで様々な変革を重ねてきたが、出展企業の25%以上を占めてきた韓国企業が出展小間数や出展そのものに変更を加えてきたことだ。この動きは常連だった大手企業で特に顕著に表れていた。その背景には、世界為替状況の変化と強力な対抗勢力となっている中国企業の大幅な出展増加がある。

一気に増加した中国出展企業

特に今や世界を代表するセキュリティ企業との評価を獲得しているハイビジョン社とダフア社が展示会場でその存在感を十分に発揮していたことだ。製品ラインナップは、最新アナログ機器からHD-SDIさらにIPメガピクセルカメラ

や録画機器までと一連のハードウェアに関するワンストップ・ソリューションを前面に出した展示内容だった。展示会のため、具体的な価格は表示していないが、これまでの市場に提供していきたくる価格を基底にして新製品を提供することを想定すると、2012年でも十分に脅威だったその存在感がさらに増幅される可能性を感じるほどだった。

その他の中国企業も1小間ないし2小間といった小規模出展ながら数多く出展していて、これまでのSECUTECHの印

象を大きく変える状況だった。製品の品質や信頼性などは展示そのものでは把握できないが、セキュリティ業界での中国勢力の凄さを印象づけていた。

HD-SDIとHD-IPの台湾企業

一方、お膝元の台湾企業は、HD-SDIとHD-IPと称した2メガピクセル以上の製品を強調している企業が多かった。その中でも、多角的な製品構成と他社との連携によるソリューションを全面に出していたVIVOTEK社、既に日本の大手企業とのOEMによる取引実績を有するハイシャープ社、5メガピクセルレンズ搭載の全方位カメラを展示していたエトロビジョン社に多くの来場者が集まっていた。その他HD-SDIを主力製品として展示していたエヴァフォーカス社、クラウドシステムをアピールしていたイングラシス社、IPカメラと自社開発ソフトウェアCamGrabaを紹介していたZAVIO社、独自開発の入退管理製品を展示していたユーテックゾーン社にも注目が集まっていた。



確かな技術とレンズで光る日本企業

ソニーは、台湾パートナー企業FINE社による出展で、アナログからIPまでの主力のラインナップ映像機器を展示して、世界ブランドによるソリューション提供をPRしていた。また、海外市場で高い評価を得ているオプテックスも、ソニー同様に台湾パートナー企業Joint Security Supplies社による出展で、レーザ・スキャンやIRそして光ファイバによる侵入検知を幅広く紹介していた。



レンズに対する日本企業の評価は今なお高い。カメラは他国製品を購入してもレンズだけは日本製品を採用したいという海外仕入業者が日本のカメラ企業ブースに足を運んでいた。日本からはタムロン社、ミュートロン社、レイマックス社、そしてVSテクノロジー社と山野光学による共同出展と、4社が新製品や高評価の製品をアピールしていた。



また、各種カメラ検査システムを発表したリーダー電子が、日本市場だけでなく世界市場とりわけ世界のカメラ工場地帯であるアジア市場でも販路を開拓すべく出展し、独自の検査システムを紹介していた。

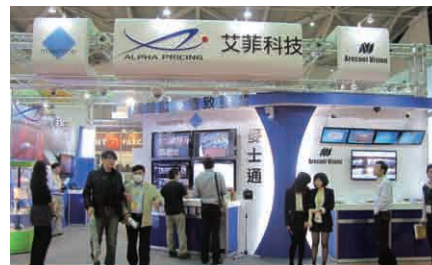
欧米監視機器は現地企業による展示

SECUTECHは世界各地からの仕入業者と出展社との商談会の場となることが顕著なため、世界各国に拠点を有する欧米の監視機器については、アジア地域の現地企業が展示を担当していた。特に目を惹いたのがアクシスコミュニケーション



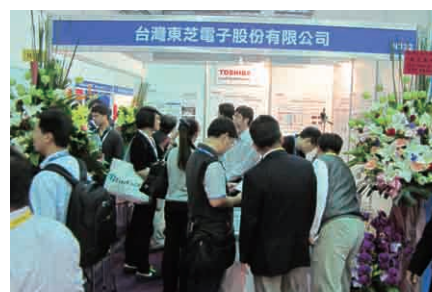
ンABとジェネテック社そしてKABA社による共同出展だった。この3社による具体的なソリューションの提案に、今後の世界的企業による合従連衡の一端を見ることができた。

その他台湾の有力ディーラーであるアルファ・プライシング社は、マイルストーン・システムズ社のVMSであるXProtect、世界的なカメラブランドであるアクシス、ボッシュ、MOBOTIXそしてアリコンビジョンを一堂に展示していた。これはなかなか見ることのできない光景だった。



COMPOSECで注目された日本企業

システムLSI、東芝は今年市場に供給し始めたCMOSセンサTCM5117PLを紹介していた。セミナー終了後の同社のブースには多くの聴講者が足を運んだ。



2014年の開催時期は3月に変更

長年にわたり毎年4月中旬から下旬に開催してきたSECUTECHだが、2014年は約1カ月開催を早め、3月19日から21日までの会期で開催することが決まった。



活況回復のきざしが感じられたISC West 2013

サンシステムサプライ株式会社 小幡 聡

米国最大級のセキュリティ展示会であるISC Westは、2013年4月10日から3日間の日程で米国ネバダ州ラスヴェガスのサンズ・エキスポ&コンベンション・センタで開催された。



ここ数年間北米市場は力強い成長とは異なる状況が続いていたため、今年の展示会の内容がどのように変化しているかで、市場動向を予測することができるのではないかと思ながらの視察だった。

積極的な中国カメラ・メーカー

今回は中国エリアが設定されていたが、100社超の中国企業が出展していた。展示製品はアナログからIPまで幅広く、さらに関連部品メーカーも出展していた。とりわけ、ダフア社やHIKVISION社そしてSunell社は広いブースを使用して、米国企業の中で大々的に展示していた。これらの企業は5メガピクセルクラスのネットワークカメラまで商品群を取りそろえ、さらに有力VMS企業との連携を全面的に強調するなど、台湾勢を凌ぐほどの積極的な展示内容だった。

不況下での製品開発

不況でこそ創造力が湧き出ていると思わせる製品が幾つも展示されていた。スタードット社は、MCLDC(マルチ・チャ

ネル・ロング・ディスタンス・コーキシャル:複数チャネル長距離対応同軸)技術を公開していた。本技術は、既存の同軸ケーブル配線を流用して両端に一切機器を追加せずにメガピクセルカメラ4台単位で設置できるシステムである。デジタルTVの周波数帯域を利用していること以外、詳細は明かさなかったが興味を惹かれた技術だった。



Edge技術の広がりやそれ以上のインパクトがあった。その背景には幾つかの要因があると思われる。1つ目は小売業などでの小規模案件で高信頼性かつローコストのIPシステムを提供することが求められていること、2つ目はカメラに処理能力を実装することができたことで、複数拠点でのクラウドサービス展開の実現化が可能になったことである。日本の有力企業のブースにあった参考出品においても、他社のクラウドシステムとの連携を発表していた。

そして、ISD社製ジャガーカメラがISC West2013の最優秀新製品賞を受賞していたことも、edge技術に対する期待と普及促進が高まることを象徴しているのかもしれない。IQinVision社前CTOだったISD社CEOイアン・ジョンストン氏が開発したジャガーカメラは、エグザック社のexacq Vision edgeを世界で初めて搭載したIPネットワークカメラである。



このような先進的な動きに日本市場で早急に対応するためにも、当社

が扱っているexacq Vision edgeと、それに対応したアクシス社IQinVision社そしてISD社製品で、市場創造への取り組みむことが急務だと実感した。

VMSメーカーの増加

これまでVMS市場はマイルストーン社とジェネテック社、そしてONSSI社とexacq社が有力ベンダだったが、その他にAGENT、ipConfig、Lenovo/EMC2、I-VIEW NOW、NetApp、WENTWORTHといった新しいブランドが続々と登場してきていた。そして、アクシス社のブース内に上述のVMSベンダ各社が均等のスペースの提供を受けて、各社の説明員がアクシス社のネットワークカメラとのソリューションを熱心に説明していた。

このように、今後はセキュリティ産業界でVMSの担う役割がますます増大し、市場が拡張していくことが、続々と誕生するVMS企業と、カメラ・メーカーのVMSに対する姿勢とから読み取ることができた。



米国市場におけるHD-SDI

一方、アジアでは市場としての動きが活発化しているHD-SDIは、米国市場ではまだ第三波に至っていないという印象だった。前述の中国大手企業のブースでもIPシステムが圧倒的に広いスペースでかつ中央位置を占めていたことは対照的に、HD-SDIは展示されていたものの、決して主役でも準主役の待遇でもなかった。今後の展開がどうなるか注目していくべきだろう。

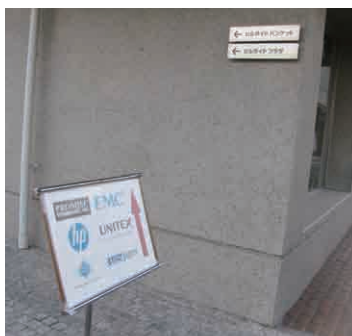
マイルストーン・システムズ・ジャパン、 パートナー・イベントを開催

映像管理ソフトウェア(VMS)の代表的なブランドX Protectを供給しているマイルストーン・システムズ・ジャパンは、2013年3月14日に東京代官山ヒルサイドテラスにおいて、パートナー・イベントを開催した。本イベントは、ストレージパートナー企業であるEMCジャパンおよび日本HP、PROMISEテクノロジーおよびユニテックス(社名ABC順)の4社と、システム構築企業であるアペックス、アライドテレシス、アニクスター・ジャパン、KTワークショップ、JVC ケンウッド、NSK、東芝テリー(社名ABC順)などが一堂に集まり、X Protectのソリューション提案時に重要となるストレージに関するカンファレンスだった。

ストレージの重要な役割

マイルストーン・システムズ・ジャパンのエリック・モンドーフ氏は冒頭で、これまで類を見ない形式でのパートナー・イベントを開催する意義、すなわち今後ますます需要が増大する映像監視市場でのストレージが担う役割の重要性とストレージを効率良くシステムに取り入れる情報を共有する大切さを紹介した。

今回参加した企業同士で既に連携している関係を有するチャンネルもあったが、



その他の組み合わせだけに留まらず、それぞれ得意な分野やこれまでの実績に基づいて、ストレージ・パートナーとシステム構築企業が新たな組み合わせを誕生させてこそ、より優れたソリューションを提供できると話した。

基調講演

引き続き、本イベントの基調講演をMilestone SystemsのCSO(最高営業責任者)であるエリック・フラトン氏が同社のこれまでの実績と今後の戦略に関する基調講演を行った。

同氏は、マイルストーン社の基本理念を「think BIGGER」のキーワードをもとに説明した。その具体的な内容として、市場セグメンテーションの改良、共通の戦略として1チャンネル1ブランドと1協力体制を挙げた。

VMS市場では現在、市場規模をカメラ

設置台数すなわち案件規模により区分している。16台までのローエンド、17-100台までのミドルエンド、101台以上のハイエンドという3つの区分だ。

これに取って代わるのが、案件内容による区分だとフラトン氏は解説した。案件内容による区分とは、平易性と信頼性そして柔軟性と拡張性の4項目による区分を指している。

市場セグメンテーションの改良とは、区分ソリューションの件数や設置カメラ台数といった数値による市場区分ではなく、案件そのものの内容により市場を把握することだった。

エリック・フラトン氏の基調講演の後、ストレージ・パートナー企業が各社のテーブルにおいて、システム構築企業各社に対してそれぞれ20分間のプレゼンテーションを展開した。



EMCジャパン



PROMISEテクノロジー



日本HP



ユニテックス

マイルストーン・システムズ社 CSOエリック・ファラトン氏に聞く

前ページでレポートしたマイルストーン・システムズ社パートナー・イベントでの基調講演のために来日した同社CSOエリック・ファラトン氏に、本誌が単独インタビューした。

問 2012年における貴社にお世界市場での業績について、業績が安定していた地域または業績が伸びていた地域はどこか？

MS：欧州は従来から業績が安定している地域である。特に2012年後半はEMEA(Europe, the Middle East and Africa：欧州と中東とアフリカ)が、ロシアを含めて業績が回復してきた。ただし、南欧に関しては、依然として経済的な問題が大きな影響を及ぼしているため、動きが戻りきっていない。

米国に関しては、もともと業績の予測が難しい地域であるものの、概ね高い業績で推移していた。しかし、2012年第4四半期(10～12月)の初頭に、債務上限や歳出強制削減、暫定予算失効という政治的な問題が深刻化し、弊社の業績には大きな影響を及ぼすことになった。

アジアに関しては、日本市場については、東日本大震災から2年を経てようやく業績として回復基調が始まったという感触がある。今年すなわち2013年にかけて、業績は好転していくと予測している。また、タイについては、2011年の洪水の被害により厳しい状況が続いていたが、政府関連の投資により2012年には業績が回復してきた。韓国については業績が驚異的に好転し、シンガポール、マレーシアも依然好調を維持している。

アジア全体としてみると景況感は好転しており、環太平洋地域の一つである豪州やニュージーランドなども含めて、好調を維持している。

問 2013年の見通しは？

MS：2013年になって第1四半期が経過するところだが、1月から2月にかけて、まずは力強いスタートを切ることができたと言えるだろう。欧州市場の業績は、南部を除けば依然として力強く推移している。EMEAは、ロシアを含めて好調さを継続している。

また、米国は債務問題などの影響があるものの、ほぼ安定している。アジアも全体的に好調です。米国の政治家が大きな判断ミスをして経済に悪い影響を与えない限り、2013年の世界市場での業績の見通しは明るいと思う。

問 VMS (Video Management Software)

Software：映像管理ソフトウェア)市場の将来性について、どのような展望を持っているか？

MS：ビデオマネジメント(映像管理)という大きな視点で捉えてみれば、管理性能の高い、ハイエンドのいわゆるVMSと、コストの低いNVRを中心にしたローエンドのソリューションとの2極化が進んでいるという印象が強い。

市場動向としては、現在アナログからIPへという大きな変化が進行している。ローコストのNVRも、高い画像品質と高機能、HD画質を備えてきており、IPへの移行を進める大きな推進力になっているのは確かだ。

現状では、南欧州や米国の経済的な不安材料が今なお存在することから、ハイエンドのVMSを選ぶか、ローエンドのNVRを核としたシステムを選ぶかは、経済状況に左右されるだろう。いずれにせよ、アナログからIPへの移行が確実に進んでいくと考えている。

問 現在、SDカードスロットを搭載し、レコーディング機能を中心としたソフトウェアを備えたネットワークカメラが注目を集めている。アクシスコミュニケーションズ社のAXIS Camera Companion、エグザックビジョン社のexacqVision EDGE、ジェネテック社のTricklingなどが代表的な製品だ。これらのソリューションに関して、マイルストーン・システムズ社は、どのように対応していく計画か？

MS：弊社は、カメラにレコーディング機能を備えたアクシス社やソニーの製品について、ドライバ・ソフトウェアを用意して対応してきている。また、2013年4月10～12日にラスベガスで開催されたISC Westでは、ハードウェアにレ

コーディング・システムを装備した製品のサポートに注力していくことを宣言している。

主要ネットワークカメラ・メーカーは、レコーディング機能搭載のカメラまたはストレージ搭載のカメラを今後も開発していくだろう。それに対応するために、当社のハイエンドの製品は、これらのネットワークカメラとの互換性を保っていくことを強調しておきたい。

問 VCA(Video Content Analysis: 映像解析)については、どのような対応をしているのか?

MS: 数多くのVCAベンダが、それぞれ独自のシステムを開発している。これに対して弊社は、オープンプラットフォームのAPIを提供し、当社製品との接続を可能にするように努力している。

そのため、日本におけるトレーニングコースの中に、APIトレーニングをはじめ、レギュラー・トレーニング・コース、テクノロジー・コース、上級コース、特別コースなどを用意している。今後は、インターネットを介したトレーニングと、トレーニング内容の日本語化も含めて事業展開することを計画している。

問 XProtectに関して、どのような開発戦略を持っているのか? またクラウドサービスについて、どのような対応を計画しているのか?

MS: XProtectのハイエンドの製品(XProtect Corporate/Expert/Enterpriseなど)に関しては、冗長性、高信頼性、24時間365日稼働するミッションクリティカルな業務への対応、多数のカメラ台数と表示への対応などを引き続き、推進していく。

また、カメラレコーディング、ハードウェア・レコーディングなどの新規の傾向に対してもサポートしていく。これと



同時に、これまでに多くの要望が寄せられていたXProtectのハイエンド製品とローエンド製品の互換性の保持についても注力していく。

クラウドベースの映像ソリューションは、約20年前から構想や企画はあったのだが、未だに帯域幅などのインフラの問題が残っており、あと一歩のところに来ているというのが実態である。もちろん、インフラの諸条件が整い、ミッションクリティカルな業務をクラウドベースで展開できるという段階を迎えれば、弊社の提供するサービスにクラウドも含めていくと考えている。

問 日本法人の設立の予定はあるのか? また日本市場に対する取り組みについて、具体的な計画があるのか?

MS: 日本におけるビジネスの重要なポイントは、チャンネル・パートナー・プログ

ラムの展開だと認識している。日本法人の設立に関しては、これまでに何回か検討してきたが、今後も継続して検討していくとお答えしておく。

例えば、インドでは200社以上の販売会社が育っていて、タイでも80社の販売会社が既に活動している。日本におけるビジネスについても、インドやタイ以上のレベルで迅速に展開していきたいと考えている。

また、サーバやNVRなどのハードウェアとXProtectをワンパッケージにした製品は、日本では受け入れやすいと考えている。日本市場には多様な製品が必要だと認識している。サーバとXprotect、NVRとXProtectというパッケージにして提供していくビジネスも今後検討していく。

AKS

インド市場と セキュリティ企業との架橋を担った SECUTECHインド2013

第2回となるSECUTECHインド2013は、2月28日から3月2日までの会期で、ムンバイ市にあるMMRDAグラウンド・バンドラ・クルラ・コンプレックスで開催された。メッセ・フランクフルト・ニューエラ・ビジネス・メディア(MFNE)社と、アジアン・ビジネス・エキジビット&カンファレンス社による共催で、SECUTECHインドが国際的なセキュリティおよび消防保安のプラットフォームであることを示すように、8カ国113社が出展した主な出展社としては世界的企業であるHID社、ハイキビジョン社、ハネウェル社、LG社、リリン社、MOBOTIX社、サフラン社、サゲム・モルフオ社、VIVOTEK社を始め、インド有力企業のシーズ・ファイア社、コア・テック・ソリューションズ社、ゴドレジ・セキュリティ・ソリューションズ社、マトリクス・コムセック社、ワイプロ&Zプラス社などだった。そして、SECUTECHインド2013への高い期待を象徴している表れとして、15カ国から13,444名の関係者が来場した。



今回のSECUTECHインド2013を振り返って、共催社のMFNE社ジョン・シー総括部長は「SECUTECHインド2013は、急成長しているインドのセキュリティ市場の様々な要求や需要に応えることができた。これはセキュリティ産業従事者が需要者側と接点を持つことができたことをも意味する」と語った。また、今回初出展したコア・テク・ソリューションズ社は開催2日目までに5,000名と商談することができたことで、SECUTECHインド2013が成功を収めたことが明白となった。

さらに、世界的な出展社はインド市場参入の扉を開ける恰好の機会だったと評価している。台湾を代表する監視システム企業のVIVOTEK社は、ブース内でデモンストレーションやシミュレーションなどを展開したことで、かなり多くの来場者の注目を集めることができた。同社国際営業部門のウィリアム・クウ副社長は、「SECUTECHインド2013はインド市場からの反応をしっかりとつかむことができる優れたプラットフォームだった」と高い評価をしている。

相乗効果が高かった GDSFインドの開催

SECUTECHインドでは、GDSF(Global Digital Surveillance Forum)インドを併催した。GDSFインドでは、最新技術や市場動向について多角的なディスカッションをする場面を用意



し、多くの議論が湧出した。聴衆者の一人だったインド産業銀行の設備管理部門上級課長のシュレヤ・サメール・ディグ氏は、講演者が紹介した話題が現在のセキュリティシステムを評価する上で非常に役に立ったと評していた。一方、講演者だったサーベオン・テクノロジー社のルイス・リン営業課長は「GDSFインドには当社が想定している対象の方々が増加して参画している。出展と講演が相乗効果を発揮した」と語っていた。

今回のムンバイ市での高い評価により、MFNEはGDSFインドを5月にバンガロールで9月にアーメダバードで、そして12月にニューデリーで開催することが決定している。

SECUTECHインド2014

第3回となるSECUTECHインド2014は、2014年2月27日から3月1日の日程での開催が決定している。

詳細情報はwww.SECUTECHindia.co.inを参照するかstid@newera.messefrankfurt.comにメールを送って確認することができる。

2013年5月

アクシスコミュニケーションズ ソリューションカンファレンス 2013

会期：2013年5月22日
会場：ベルサール秋葉原2階ホール
主催：アクシスコミュニケーションズ
URL：www.axis.com/events/solution_
conference/jp/index.htm

VSC 2013 in東京

会期：2013年5月24日
会場：オフィス東京 2階L2会議室
主催：R.O.D
URL：http://www.rodweb.co.jp/event/
vsc2013/0524tokyo/2013vsc_
tokyo0524.pdf

ワイヤレスジャパン2013

会期：2013年5月29日-31日
会場：東京ビッグサイト 西4ホール / 会議棟
主催：リックテレコム
URL：www8.ric.co.jp/expo/wj/

Indo Security Expo & Forum 2013

会期：2013年5月29日-5月31日
会場：ジャカルタ国際展示場、ジャカルタ市、
インドネシア
Email：info@indosecurity.com
URL：www.indosecurity.com

6月

MOBOTIX JAPANパートナー カンファレンス & MX EXPO

会期：2013年6月11日-12日
会場：横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ
主催：MOBOTIX JAPAN

Security Canada West 2013

会期：2013年6月12日
会場：リバー・ロック・カジノ・リゾート、
リッチモンド市、カナダ
Email：staff@canasa.org
URL：www.securitycanadaexpo.com

IPCC 2013 in 大阪

会期：2013年6月13日-14日
会場：難波御堂筋ホール7階
主催：R.O.D
URL：www.rodweb.co.jp/event/

第10回IP監視カメラシステム展示会

期：2013年6月21日
会場：東京国際フォーラム 4Fガラス棟
会議室G409
主催：ケーティーワークショップ

Electronic Security Expo 2013

会期：2013年6月24日-6月28日
会場：ナッシュビル国際会議センタ、
ナッシュビル市、米国
Email：nfranco@ae-ventures.com
URL：www.esxweb.com

7月

第8回 オフィス セキュリティ EXPO OSEC2013

会期：2013年7月10日-12日
会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール
主催：リード エグジビション ジャパン
URL：www.osec.jp/

Secutech Thailand 2013

会期：2013年7月3日-5日
会場：バンコック国際貿易展示センタ、
バンコック市、タイ
Email：komori@asj-corp.jp

URL：www.secutechthailand.com

SOLUTION Japan 2013

会期：2013年7月10日-11日
会場：福岡国際会議場
主催：パナソニック システムネットワークス
URL：http://panasonic.biz/solution/press/
news/news_1305.html

8月

Secutech Vietnam 2013

会期：2013年8月8日-10日
会場：サイゴン展示会議場センタ、
ホーチミン市、ヴェトナム
Email：komori@asj-corp.jp
URL：www.secutechvietnam.com

9月

ISAF 2013

会期：2013年9月19日-22日
会場：イスタンブール展示会場、
イスタンブール、トルコ
Email：marmara@marmarafuar.com.tr
URL：www.isafuuri.com

ASIS 2013

会期：2013年9月24日-27日
会場：マコーミック・プレイス、シカゴ、米国
Email：asis@asisonline.org
URL：www.securityexpo.org

GDSF JAPAN 2013

会期：2013年9月27日
会場：秋葉原UDXギャラリ NEXT
主催：a&s JAPAN
Email：gdsf@asj-corp.jp
URL：http://www.asj-corp.jp/gdsf2013.html

HD-CCTVカタログを超えた貴重な資料

WEBGATE社の日本総代理店である店舗プランニングが翻訳した日本版のWEBGATE社製品カタログ「HD-CCTV

Products & Solutions」が注目を集めている。本書は、製品カタログでありながら144ページ建てで、質量とも充実したHD-CCTVに関する基本情報が掲載されているからだ。

原書となったのはWEBGATE社の制作したカタログで、店舗プランニングが日本語化と説明に役に立つ画像を追加している。今回その一部を誌面に公開する許可を得たので、下記に掲載する。

IPネットワーク機器であれ、HD-CCTV機器であれ、映像監視システム産業従事者が新技術や新製品について理解することは決して容易ではない。基本的

な段階から積み重ねて理解することで、確実に理解していくことが肝要だ。

映像監視機器そのものは、諸仕様などから全般的に把握することはできるが、システムとして理解する上では、さらに詳しい情報を習得することが極めて重要となる。しかし、現実にはこれらをすべて網羅した情報は入手し難い。

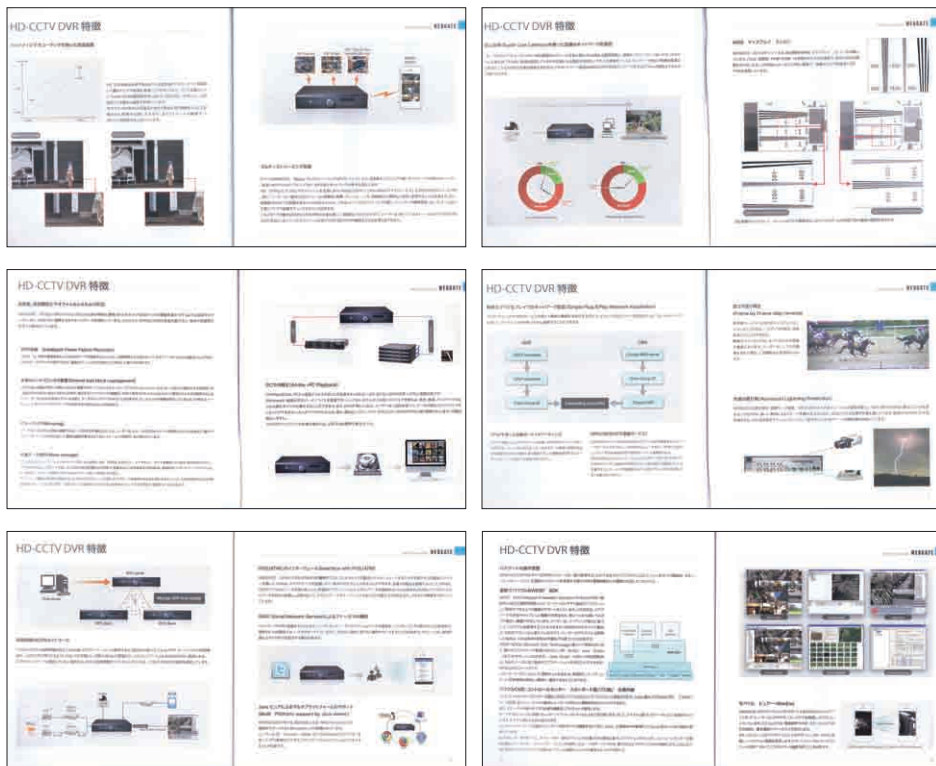
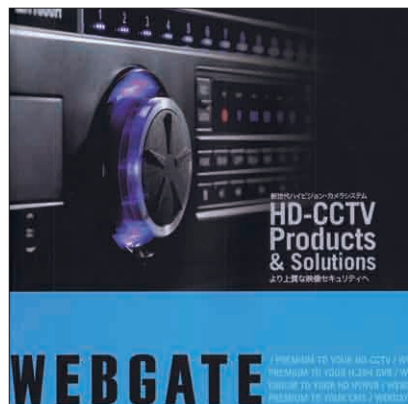
その点、本書(WEBGATE社製品カタログ)は、製品情報や諸仕様を紹介する前に基本情報を分かりやすく項目ごとに解説している点が秀逸だと言えよう。この内容であれば、導入側である見込客向けのHD-CCTV紹介資料としても十分活用することができるだろう。

映像監視機器を提供する側がまず取り組むべきことは、このような資料を提

供し普及活動に積極的に取り組むことではないだろうか。決して安価でない映像監視機器を導入する前に詳しい情報を得られる環境を整えることが、市場開拓や拡大する上での確実な第一歩と言えるだろう。

本来は世界的な組織であるHD-CCTVアライアンスが用意すべき資料であるが、その場合であっても英語版しか発行されないだろう。その点からも、店舗プランニングが日本語化して制作したWEBGATE社製品カタログ「HD-CCTV

Products & Solutions」は、HD-CCTV市場に関する役に立つ貴重な資料と言えよう。店舗プランニングでは、近々第二刷を用意する予定とのことだ。



フリーシステムズ社製赤外線カメラSR-100、 ミュンヘン空港外周域の防犯に活躍

ドイツのバイエルン州ミュンヘンにあるミュンヘン空港は、2008年の評価調査で香港国際空港、チャンギ国際空港、仁川国際空港、クアラ・ Lumpur 国際空港に続き、第5位に選ばれている。

空港の安全管理

しかし、この調査には重要な項目である安全性が含まれていなかった。ミュンヘン空港の安全性について、映像監視部門プロダクトマネージャのドミニク・エドルバウワ氏は次のように話す。

「当空港のお客様の安全を確保しなければならない。そのためにセキュリティスタッフを各所に配備しているほか、空港全体を網羅するCCTVネットワークを運用し、合計1000台以上のカメラで空港内要所を監視している。カメラ設置場所は空港内そして空港外周域にも設置して、敷地面積1560ヘクタールをCCTVネットワークで網羅している。同氏はさらに、「立ち入り制限区域への無許可侵入時には、可能な限り早く察知する必要がある。空港の周囲にはフェンスを張り巡らせているが、実際に起こっていることを視認しなければならない。フェンスを越えとかやフェンスを切断しようとしている時、当社は即時に察知し、侵入防止を実施できなければならない」と続ける。

航空交通管制を妨げない外周域監視

CCTVカメラによる監視は、日中はほぼ全時間帯で問題なく行えるが、夜間や天候不順時は困難さがある。CCTVカメラの画像生成時には、光が必要だからだ。



ミュンヘン空港



滑走路沿いの鉄柱にCCTVカメラとともにパニチルト雲台に搭載され設置されたSR-100



ミュンヘン空港の制御

「空港の外周フェンスは滑走路に並行して設置されており、照明があるのは緊急活動用のいくつかのゲートだけだ。空港のフェンスは約6kmにわたり両側に一直線に設置されている」(エドルバウワ氏)。そのため、合計12kmのフェンス全体用の照明設置には大変なコストがかかる。

光増幅

光増幅は、微量の可視光を数千倍に増幅して夜間視認を可能にする技術である。光増幅システムはエリアを走査し、感知した環境光を増幅して画像を生成する。光増幅にはある程度以上の環境光が必要だが、星明りだけでも画像を生成できる。さらに高感度の暗視カメラなら月光だけで驚くほど鮮明な画像が得られる。しかし、曇天など悪条件下では十分な性能が発揮できない。

逆に光が強すぎても、システムの処理容量を超えてしまい、性能が低下することがある。ミュンヘン空港でもこれが問題になり、発着する航空機の照明が光増幅システムに影響を及ぼしていた。そこで、エドルバウワ氏は、光増幅システムの交換時期に、これに代わる対応策を模索し、その結果選択したのが赤外線カメラだった。

赤外線カメラ

赤外線の画像生成に光は一切不要だ。

完全な暗闇の中でも鮮明な画像を生成し、ほぼ全天候に対応できる。そこで、ミュンヘン空港は、フリーシステムズ社の監視用赤外線カメラシステムのデモを見た上で採用を決定した。

6kmの直線区域用監視に採用したのは、極めてレンジ性能に優れ、画像品質そしてリーズナブルな価格を有するSR-100だった。同カメラは、CCTVカメラとともにパン/チルト雲台に搭載したことで、必要な全ての場所を見ることができ。日中はCCTVカメラ、環境光が少ない時間や暗闇はSR-100を使い、24時間シームレスにカメラを切り替えている。

侵入を見逃さない監視体制

赤外線カメラは夜間だけでなく日中も効果的に活用できる。例えば物陰に隠れている不審者やカモフラージュしている不審者も、赤外線カメラなら検出できる。

さらに、SR-100の生成画像は光ファイバ経由で制御室に送られる。パン/チルトを駆使して画像を個々の画面やビデオウォールに表示し、不審な人や物が見つけた次第、即座に対処している。

このように、フリーシステムズ社製SR-100は、ミュンヘン空港で安全とセキュリティへの脅威を確実に排除するための手段として、活用されている。



リーダー電子、カメラ画像評価用ソフトウェアを発売

リーダー電子は、カメラの画像評価をする検査用アプリケーションソフトウェア「カメラテストシステムFS 8681」を発売した。同社は電子計測器の専門メーカーで、特にテレビ等の映像関連分野を得意とし、民生電子機器メーカーの生産用自動化、省力化計測器やメンテナンス用の計測器など、多岐にわたる電子計測器の製造および販売を主な事業としている。

本ソフトウェアはIPネットワークカメラだけでなく、NTSCやPALなど複数の映像信号が存在するアナログカメラにも対応している。その点から、あらゆる監視システム用カメラの映像を評価することができる画期的なソフトウェアと言える。

【主な特長】

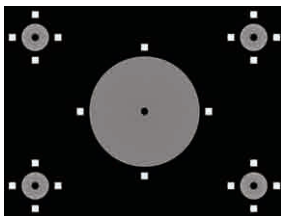
- ビデオカメラ、アナログ監視カメラ、IPネットワークカメラ、カメラ・モジュール等、各種カメラの画像ひずみ、色信号(位相、飽和度)、階調特性、解像度、SN比、ゴミ・シミ等の評価および検査ができる。
- 映像信号入力は、3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI、HDMI、NTSC/PALに対応。
- インターフェイスは、LAN、USB、IEEE1394に対応。また、単体の画像ファイル(4K2K画像等)の評価も可能。
- GUI 環境による測定シーケンスの作成・編集により、周辺機器の制御を含めた複合的な評価をPC上で簡単に実行できる。
- I/F BOX、チャートBOX(オプション)
I/F BOX およびチャートBOX を使用することで、カメラ・モジュールの画像

評価やビデオ波形の測定・評価が可能。

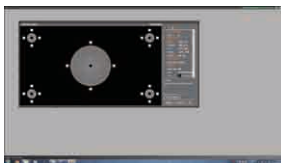
さらに、I/F BOX およびチャートBOX を使用することで、カメラ・モジュール制御に同期した、画像評価およびビデオ波形での評価測定を可能にするオプションも同時に開発。

【解像度測定用オリジナルチャート(特許出願中)】

オリジナルチャートを使用することで、解像度を数値表示できる。



- 測定モジュール設定ウインドウ
測定画面表示と測定項目の設定画面。判定基準などをパラメータとして設定可能。



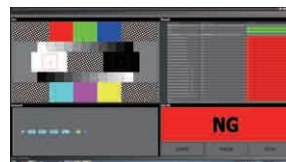
- 測定モジュール設定ウインドウと測定結果
測定モジュールの実測値表示画面。測定モジュール設定ウインドウにより、設定した条件で実測確認ができる。



- 測定シーケンス作成・編集画面
グラフィカルな表示で、直感的にできる測定シーケンス作成・編集画面。



- 測定シーケンス実行による測定画面
生産ライン用の、測定シーケンスの実行と結果表示画面。



■動作環境

HDD容量2 GB以上、メモリ 4GB以上でWindows 7が動作するPC

モニタ：XGA以上

OS：Windows 7 32bit/64bitを推奨

システム構成例：PC+入出力ボード+カメラ+チャートBOX+I/F BOX。

指定入出力ボード：ブラックマジックデザイン社製(DeckLink Studio)

■対象市場

リーダー電子では、本ソフトウェアを車載カメラなどに採用されている組込型カメラ・モジュール、監視用IPネットワークカメラおよびアナログカメラなどの開発設計や製造工程での検査部門で活用することで、出荷時の品質管理を高めることができると見ている。

また、設置段階での映像システム検証に使用することで、システム納品時の信頼性を高めることができるため、システム構築者や設置施工者が活用することが考えられる。

http://www.leader.co.jp/product/fs_8681.html



MOBOTIX JAPAN、EP24M販売開始

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIXネットワークカメラM24Mを防爆ハウジングに内蔵した防爆対応カメラEP24Mを2013年4月から販売開始した。

本製品は、日本国内の防爆規格に対応したExd II B5耐圧防爆構造で、1種2種危険場所に設置可能なカメラ。石油化学工場、船舶、都市ガス・LPガス関連施設など、防爆対応が必須の場面で採用することができる。

カメラ部にMOBOTIX M24を採用して300万画素の高解像度画像を提供し、カメラ内蔵のmicroSDカード(最大64GB)に録画することができ、長期録画の場合は外部NASやファイルサーバに画像保存が可能。

防爆対応が必要な場所の監視においてEP24Mを設置することで、遠隔から現地をモニタリング・監視することで危険回避ができ、また、危機発生時には迅速な対応が可能となる。

300万画素の高解像度で鮮明な防爆区域の映像が得られ、また、ネットワーク経由で遠隔PCでの画像閲覧ができることは、防爆エリアを有する施設に多くのメリットをもたらす。

EP24Mは、M24M-Secureのみ内蔵のEP24M-Secureと、M24M-SecureとMOBOTIX メディアコンバータMX-2Wire-Plusを内蔵したEP24M-

Secure-2Wireの2タイプ、さらにそれぞれでカラーセンサ搭載と白黒センサ搭載タイプを用意している。

EP24M-Secure-2Wireは、同軸ケーブルや電力線をネットワークケーブルへとコンバートして、最大500m*までケーブルを延長することができることから、プラント工場などの広大な施設においても、効率的な設置が可能となる。

【製品構成 (xxはレンズ型番22、32、43、65、135)】

- ・EP24M-Secure
型名: EP24M-Secure Dxx
防爆ハウジング、M24M-Secure、カラーセンサ搭載
- ・EP24M-Secure-Night
型名: EP24M-Secure-Night Nxx
防爆ハウジング、M24M-Secure-Night 白黒センサ搭載
- ・EP24M-Secure-2Wire
型名: EP24M-Secure Dxx-2Wire
防爆ハウジング、M24M-Secure、カラーセンサ搭載、MX-2WirePlus内蔵
- ・EP24M-Secure-Night-2Wire
型名: EP24M-Secure-Night-2Wire Nxx
防爆ハウジング、M24M-Secure-Night、白黒センサ搭載、MX-2WirePlus内蔵

<http://www.mobotix-japan.net/product/ep24/index.html>

【M24M】

●特長

M24シリーズは、非常にコンパクトなデザインで、コスト効果に優れたオーラウンドカメラ。カメラの視野角は監

視カメラの中では最も広く、180°のパノラマ・バージョンも利用できる。さらにIP66を取得した屋外ハウジングと、長時間録画が可能なMicroSDカードを標準装備している。

●諸仕様

モデル	IT, IT-Night, Sec, Sec-Night, Sec-CSVario, Sec-Hemi*
レンズ	L11 (半球180° : Sec-Hemi), L22 (90°), L32 (60°), L43 (45°), L65 (31°), L135 (15°), CSVario (CSマウント : Sec-CSVario)
感度	カラー : 1lux (t=1/60秒), 0.05lux (t=1/1秒) 白黒 : 0.1lux (t=1/60秒), 0.005lux (t=1/1秒)
画像センサー	1/2" CMOS, プログレッシブ・スキャン
最大画像解像度	カラー : 2048x1536 (3Mピクセル) 白黒 : 1280x960 (1.3Mピクセル)
画像サイズ	2048x1536, 1280x960, 1024x768, 800x600, 768x576 (D1), 704x576 (TV-PAL), 640x480, 384x288, 352x288, 320x240, 160x120 自由に設定できる画像サイズ(例 : スカイライン用の1000x200)
最大フレーム数 (M-JPEG) (ライブ/録画)	VGA : 25fps, TV-PAL : 18fps, Mega : 8fps, 3MEGA : 4fps
ビデオ動画 (MxPEG) (ライブ/録画/音声)	VGA : 30fps, TV-PAL : 30fps, 1Mega : 30fps, 3MEGA : 20fps
画像圧縮	MxPEG, M-JPEG, JPEG, H.264 (ビデオ-VoIP-電話)
ソフトウェア (無償提供)	ビデオ管理ソフトウェア MxEasy, 制御ソフトウェア MxControlCenter
画像処理	逆光補正、自動ホワイトバランス、画像走み補正、ビデオセンサ(動体検知)
バーチャルPTZ	デジタル・パン/チルト/ズーム、連続8倍ズーム
アラーム/イベント	イベントトリガ : カメラ内蔵の複数ウィンドウによる動体検知、温度外部通知 : eメール、FTP、IP電話 (VoIP/SIP)、ビジュアル/音声アラームブリ・ポストアラーム画像
音声	内蔵マイクとスピーカー、リップシンク音声(完全同期)、双方向通信、音声付録画
インターフェース	Ethernet (10/100BASE-TX)、MiniUSB
音声/電話	VoIP、SIP、双方向通信、DTMFシグナルによる遠隔制御、イベント検知
セキュリティ	ユーザ/グループ管理、HTTPS/SSL、IPアドレスフィルタ、IEEE802.1x、侵入検知、デジタル画像署名
認証	EMC (EN55022, EN55024, EN61000-6-2, FCC part15B, AS/NZS3548)
電源供給	PoE (IEEE802.3af) : 動作モードによってPoE classは変動 消費電力 : 約3W PoEスイッチ/インジェクタで動作可能
動作環境	IP66 (DIN EN 60529), -30°C ~ +60°C
寸法	WxDxH : 14x23x19 cm 重量 : 約750g
標準付属品	屋外対応ハウジング(高抵抗化合物PBT)、白、水平/垂直方向が自由に方向変更できる壁/天井設置マウント、取付けパーツ、パッチケーブル、マニュアル、ソフトウェア、4GB MicroSD
外部ストレージ ※1	追加の録画ソフトウェアを必要せずに直接NAS/PC/サーバに保存(最大4TB)
内部DVR ※1	MicroSD slot(最大64GB)



アクセスコミュニケーションズ、新製品を続々と発表

AXIS P13シリーズの新しいモデル

今回発表されたモデルは、HDTV 1080p解像度を提供する「AXIS P1355」、5メガピクセルの解像度の「AXIS P1357」、屋外向けハウジングに収納された「AXIS P1355-E」、「AXIS P1357-E」の4製品。

高解像度の撮影により、交通や店舗、銀行や工場における監視など、幅広い用途での利用に適している。昼夜を問わず優れた画質を提供するデイ/ナイト機能に加えて、Pアイリスコントロールによる被写界深度とレンズの解像度の最適により、非常に鮮明な画質を実現する。



主な特長

- ・高解像度、HDTV 1080p (AXIS P1355) 並びに最大5メガピクセル (AXIS P1357) による撮影が可能

- ・IP66およびNEMA 4Xの防水・防塵性能の屋外向けモデル (AXIS P1355-E、AXIS P1357-E)
- ・Pアイリスレンズ搭載による画質の最適化
- ・デイ/ナイト機能による、赤外線フィルタの自動制御
- ・従来のAXIS P13シリーズ向けのハウジングが使用可能
- ・H.264およびMotion JPEGによる映像圧縮
- ・Power over Ethernet (PoE) またはDC電源による給電に対応 (屋外向けモデル P1355-E および AXIS P1357-E は PoE 給電のみ対応)
- ・AXIS Camera Application Platform 対応のサードパーティ製アプリケーションが利用可能

AXIS M50-Vシリーズ

「AXIS M50シリーズ」に耐衝撃性能が加わった屋内向け、耐衝撃、高解像度、旋回により全方位360度をカバーする小型PTZドームカメラ

ラ。不特定多数の利用が見込まれる交通機関や商業施設、銀行やホテル、オフィスやレストラン、倉庫などの屋内空間への設置に適している。

さらに、同社ネットワークビデオ製品に広く搭載されている映像分析モジュール用プラットフォーム「AXIS Camera Application Platform」にも対応して、人数計測やヒートマップ、侵入検知などのサードパーティ製アプリケーションをカメラにインストールして、映像を用いたインテリジェントシステムを構築することができる。

主な特長



- ・軽量小型のデザインにIP66の防水・防塵性能とIK10の耐衝撃性能を実現
- ・SVGA 800x600ピクセル (AXIS M5013-V) およびHDTV 720p (AXIS M5014-V) の高画質
- ・パン：±180度、チルト：90度による撮影が可能
- ・3倍デジタルズーム
- ・動体検知機能
- ・FTP送信、メール送信、スナップショット機能
- ・エッジストレージに対応し、microSD/microSDHC/microSDXC (64GB) カードに録画可能
- ・NAS、ネットワークビデオレコーダ、映像管理ソフトウェア (VMS) への録画にも対応
- ・H.264およびMotion JPEGによる映像圧縮
- ・Power over Ethernet (IEEE 802.3af) に対応
- ・AXIS Camera Application Platform 対応のサードパーティ製アプリケーションが利用可能

AXIS M2014-E

世界最小HDTV 720p固定ネットワークカメラ

「AXIS M2014-E」の7.6cm x 3.2cmの小さな外観は、あらゆる形状の設置場所にも柔軟に対応すべく設計されている。カメラユニットとメインユニットに分かれ、最大8mまで離して設置可能である。これにより、今まで監視カメラの設置が難しいとされていたような場所にも設置することができる。

小売店舗、小規模オフィスやホテルなどの中規模スペースの監視に適している。さらに、半屋外モデルとしてIP66の防水・防塵性能を搭載し、屋外に面した場所にも設置可能となっている。

また、本体に搭載された動体検知やいたずら検知アラームに加え、付属のI/Oポートにより、センサや外部機器と連動させたアラームやアクセスコントロールの使用も可能。



主な特長

- ・世界最小のHDTV 720p 固定ネットワークカメラ
- ・あらゆる形状の設置場所に柔軟に対応できるデザイン
- ・半屋外モデルとしてIP66の防水・防塵性能を搭載
- ・Corridor Formatによる縦方向での撮影が可能
- ・エッジストレージに対応し、映像をmicroSDカードに録画可能
- ・H.264およびMotion JPEGによる映像圧縮
- ・外部入出力機器との連動が可能なI/Oポートを搭載
- ・Power over Ethernet (IEEE 802.3af) に対応し、ネットワークケーブル1本で給電・映像伝送
- ・DC電源に対応



■ ネットワークカメラDH-IPC-K100

- ・ アブチナ社製1/3インチ1.3メガピクセル・センサ
- ・ H.264とMJPEGのデュアル・ストリーム
- ・ 最大1,280 × 960で15fpsあるいは1,280 × 720で25/30fps
- ・ DWDR、デイ/ナイト、2DNR、自動アイリス、AWB、AGC、BLC
- ・ マルチ・ネットワーク表示：ウェブ、CMS(DSS/PSS)、DMSS
- ・ 3.6mm固定レンズ
- ・ 白色LEDの距離：10 m



ダフア・テクノロジー/中国

E-mail : overseas@dahuatech.com

■ 高速無線CCTV配備システムSVC-7835MI

- ・ 超低電力で鮮明画像のマイクロNVR内蔵
- ・ ネットワーク接続のカメラERCを同時記録
- ・ ITBのHDDに90日以上録画
- ・ 0.06ルクスで反応するデイ/ナイトセンサ
- ・ 光学およびデジタルズームで最大216
- ・ 1,280 x 960あるいはHD 720pの高品質映像
- ・ H.264、MPEG4、MJPEGコーデック



EyeLynx/英国

E-mail : darryl@premierelect.co.uk

■ 耐候砲丸型IPカメラHIQ-6483

- ・ 1/2.5インチ5メガピクセルCMOSセンサ
- ・ 2,048 × 1,536解像度の3メガピクセルt
- ・ リアルタイムでのフルHD 1,080p/30 fps
- ・ 最大20m以上の赤外線投光距離
- ・ 6.0mm, F2.0固定レンズ
- ・ デイ/ナイト用IRカットフィルタ機能
- ・ PoE給電
- ・ IP66規格適合



hiQview/台湾

E-mail : sales@hiqview.com

■ 30インチ WQXGAディスプレイ ThinkVision LT3053p Wide

- ・ Adobe RGBカバー率99%のワークステーション用モニターとしての機能
- ・ 1画面に2つのスクリーンを表示可能なPIPとPBP対応
- ・ ワンボタンで2台以上接続しているPCの切り替えが可能
- ・ より作業を快適にする角度調整
- ・ 省エネ設計



レノボ・ジャパン

URL : www.lenovo.com/jp/ja/

☎ : 03-6439-2460

■ XProtect LPR用ソフトウェア

- ・ 設定したLPRと識別したLPRとが一致した時にリストを作成。ホワイトリストかブラックリスト、従業員か来訪者
- ・ ユーザーが即座にLPRカメラの録画を再生し、特定のナンバープレートの識別を有効にする独立した再生機能
- ・ 識別されたプレートとの一致/不一致に基づいたアラームを生成するために使用することができるナンバープレート・リストを作成し、操作者の即時反応が可能。



マイルストーン・システムズ/デンマーク

E-mail : sales@milestonesys.com

■ 960H/DI DVR

- ・ フル960H/D1で100/200/400 fpsリアルタイム・レコーディングをサポート
- ・ テキサスインスツルメンツ社製DaVinci DM8107/3G-Wi-Fi採用
- ・ 動体検知と自動検知機能
- ・ SDカード内蔵でNASストレージをサポート
- ・ 外部センサの統合、HDMI出力端子
- ・ HDDの冗長性とスマート検索
- ・ 通信状態を確認するハートビート
- ・ キーアラライブ機能



Sparsh/インド

E-mail : service@sparshsecuritech.com

■ PTZカメラTN-P1220x IP

- ・ パナソニック製1/3インチプログレッシブCMOSセンサ
- ・ 最大1,920 × 1,080での60fpsの解像度
- ・ 20倍光学ズーム、12倍デジタルズーム
- ・ H.264/H.264かH.264/MJPEGのデュアル・ストリーミング
- ・ 役に立つデイ/ナイト機能(ICR)
- ・ ペルコDあるいはペルコ・プロトコル準拠のRS-485通信
- ・ 即時警報または録画対応の動体検知
- ・ ONVIFおよびPSIA互換



Truen/韓国

E-mail : sales@truen.co.kr

■ HD-SDI DVRHDC401M

- ・ 4チャンネルHD-SDIスタンドアロン型DVR
- ・ チャンネルごとに速度と画質を調整できるフルHD 30/25fpsでの録画
- ・ 表示および再生用に1,200TV本を用意
- ・ HDDとDVDと16TBまで拡大可能なeSATAポートを搭載
- ・ 専用ファイルシステム、ビデオの避雷保護、DIOポートなどの高信頼性



Webgate/韓国

E-mail : sales@tenpo.co.jp

定期無料購読のご案内

簡単な手続きで毎号お読みいただけます



① <http://www.asj-corp.jp/> にアクセス

② このバナーをクリック



③ 登録画面の全項目にご記入

④ 「送信する」をクリック



⑤ 登録完了メールをお送りします

最新号発行のたびに
アクセスするURLをお送りします

ASJ社

年間購読申込書

申込日 20 年 月 日



隔月刊 6,000円
(税、送料込)

20

年

月号より1年間購読

送付先	住所1:	
	住所2:	
	貴社名:	
	部署名1:	
	部署名2:	
	電話:	FAX:
	役職名:	
	ご氏名:	
E-MAIL:		

振込先	<p>ゆうちょ銀行からの振込の場合 口座記号：10180 口座番号：3723281 口座名：エーエスジェー（ド） ※ATM表記は、「エーエスジェー（ド）」となります。</p> <p>他の金融機関からの振込の場合 ゆうちょ銀行 店名：〇一八（読み ゼロイチハチ）普通預金 口座番号：0372328 ASJ 合同会社（エーエスジェー ゴウドウガイシャ） ※ATM表記は、「エーエスジェー（ド）」となります。</p> <p>※振込手数料は、貴社にてご負担いただきますようお願い申し上げます。 ※発送は、入金確認度とさせていただきます。 ※送付先は、日本国内に限定させていただきます。</p>
-----	---

FAX番号 03-6206-0452

ASJ(Advanced Security Journal)社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10F
 TEL：03-6206-0448 E-MAIL：reader@asj-corp.jp

読者の声

道路情報は取り締まり一本槍でなく、画像情報サービスの提供も

高速道路のみならず、1級国道には膨大な監視カメラが設置されている。その主な目的は交通取り締まり用および犯罪車両の割り出しとされている。しかし、決して安くはない監視カメラをそれだけに使用するのでは、費用対効果が十分ではないのではないかと。例えば、降雨や積雪情報をリアルタイムの映像で提供する、道路の混雑情報を一目でわかるよう配信するなど、交通取り締まり用および犯罪車両の割り出しに影響のない範囲で活用できるのではないだろうか。

(東京 流通業)

車載カメラと無線通信

バスやタクシーそしてトラックなど業務用車両にカメラを搭載することが一般化しつつある。しかしその大半は、カメラに内蔵したストレージに記録するスタンドアロン型である。これはイベント発生時の証拠映像としては有効だが、迅速な事後処理には決して有効とは言えないだろう。そこで、無線による映像送信機能を付加することで、イベント対応がより円滑にでき、その結果として犯罪防止や安全確保が実現できるのではないだろうか。今ある技術でも実現可能かと思うがいかがだろうか。

(神奈川 設置施工業)

携帯型個人向けカメラの開発を

遠隔にいる高齢者の動きを把握するためや、幼児や年少者の外出時に携行させて不安を取り除くためのセキュリティ機器として、ICタグやPHSを携行させてそれをGDSで追尾するシステムがある。これにピンホールレンズを採用したカメラを統合させることで、日常の行動での危険な状況をすぐに察知して、スマートフォンや携帯電話にアラームを送ると言うシステムにアップグレードできないだろうか。屋内専用と屋内外兼用などと使い分けることで、ランニングコストを抑えて活用することもできるだろう。

(埼玉 公務員)

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報が漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.jp

iPad

11:08

100%

a&s International

a&s on iPad

Enjoy **a&s international⁺** Now!



Available on the iPad
App Store



さらに高度で、上質なセキュリティへ。
HD-SDIシリーズ フルラインナップ

WEBGATE HD cctv member
 HD-CCTV solution provider

HD-SDIボックスカメラシリーズ



C1080B
 HD-SDIボックスカメラ
 2.1メガピクセル高画質・テイナイト&高機能タイプ



C1080BM
 HD-SDIボックスカメラ(ショートボディアップ)
 2.1メガピクセル高画質・テイナイト&高性能コンパクトタイプ



C1080D
 2.1メガピクセル高画質・テイナイト機能&
 3軸調整可能



C1080VD
 2.1メガピクセル高画質・テイナイト機能&
 3軸調整可能・耐衝撃型

HD-SDI赤外線内蔵ドームカメラシリーズ



C1080DIR
 2.1メガピクセル高画質・IR内蔵・テイナイト
 機能&3軸調整可能・耐衝撃型



C1080VDIR
 2.1メガピクセル高画質・IR内蔵
 テイナイト機能搭載

HD-SDIスピードドームカメラ



C1080PT-Z20 (NEW!)
 2.1メガピクセル高画質
 光学20倍スピードドームカメラ

アンチモーションブラー

動く被写体への鮮明な映像実現
 WEBGATEのカメラは、高性能な
 新ビデオ信号処理方法を採用。動
 きによるぼやけのない鮮明な映像
 を提供します。室内モードと屋外
 モードがあります。



アンチモーションブラー



モーションブラー

HD-SDI DVRシリーズ

4ch 超小型A4サイズ



HDC400M (NEW!)
 超小型HD-SDIフルHDスタンドアロンDVR
 A4サイズ/解像度1080p/720p入力/録画フレーム:4ch(30fps@1080p)/遅延
 なく高画質録画&再生/HDMI出力1ch/ウェブブラウザモニターリング

4ch 8ch 16ch



HD400F (NEW!) / HD400H / HD800H / HD1600M
 HD-SDIフルHDスタンドアロンDVR
 解像度1080p/720p入力/録画フレーム:400H(60fps@1080p)/400F・800H・1600M(120fps
 @1080p)/遅延なく高画質録画&再生/HDMIとVGA映像出力各1ch/ウェブブラウザモニターリング

HD-SDI 周辺機器シリーズ



RP102
 HD-SDIリピーター(1入力/2出力)
 配線距離を延長する場合に使用する便利なりピーター

HD-SDI→HDMI



SDI2HDMI
 HD-SDI→HDMIコンバーター
 HDMI入力のあるモニターやテレビで表示が可能

HDMI→HD-SDI



HDMI2SDI
 HDMI→HD-SDIコンバーター(2入力/2出力)
 SDI2HDMIとセットで使用してHDMI信号の変調可能

SD→HD-SDI



SD2HD
 SD(アナログ)→HD-SDIコンバーター
 アナログ映像信号6chをHD-SDI信号出力・分割表示可能

HD-SDI→SD



HD2SD-L
 HD-SDI→SD(アナログ)コンバーター
 SD(アナログ)1出力+HD-SDIスルーアウト1出力



NVS04R
 スタンド・アロン・ネットワーク外部記録装置
 DVR本体8TB+NVS04R(56TB)最大64TBまで拡張可能

WEBGATE WEBGATE 日本総販売代理店

TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業部
 関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社
 〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階
 TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp
 販売代理店募集中 製造元 WEBGATE